



2018 年度事業報告書 決算書

1 月通常総会資料

事業年度 自 2018 年 1 月 1 日
至 2018 年 12 月 31 日

1966年、地域を想い、地域の未来を拓く青年経済人が集い、長井青年会議所は発足しました。この想いは脈々と受け継がれ、創立50周年を迎えます。私たちは、創始の想いを礎に、移りゆく時代の中で若さあふれる発想を持って地域発展のための運動を展開してまいりました。明るい豊かな社会の実現のため、この想いはこれからも変わることはありません。

次なる50年の第一歩を踏み出すため、ここに、2015年から2019年までの運動指針を策定いたします。

〈2015 - 2019年度〉 公益社団法人 長井青年会議所 運動指針

幸せを実感できるまちづくり

【未来への責任】

これまでの50年、先人たちのたゆまぬ努力により大きな経済成長を遂げ、私たちの暮らしは豊かになりました。今を生きる私たちは、豊かな50年後を築くために、今できることを常に考え、責任ある行動をしていきます。

【幸せの姿】

家族や地域の姿が年々多様化する中、求められる幸せの姿は多様になっています。未来を担う子どもたちもさまざまな想いをもって育ち、教育の場では、その想いを尊重することが必要となります。これからの社会では、一人ひとりの想いから生まれた夢を叶えられるという、心の豊かさが幸せの姿となっていきます。

【心の豊かさ】

夢を叶えるには一人ひとりの成長が必要です。人は人で磨かれるというように、より多くの人と出会い、その人々の想いに触れることで心が豊かになり、成長することができます。また、人の想いを尊重し共感する心は、現実との触れ合いによって身につくものです。多様な想いが行き交う中、実体験を通じて心を豊かにしていくことが求められます。

【幸せの実感】

地方に住む私たちが豊かさを実感するためには、このまちの魅力を再認識していくことが必要です。長井西置賜ならではの特色ある地域資源を明確に再認識して、その魅力を発信し、住みたいと思われる魅力あるまちとなることで、ここに住み暮らす私たちが誇りを持ち、幸せを実感することができます。

【私たちの運動】

私たちは、心豊かで魅力あるまちを創造し、このまちに関わるすべての人々が幸せを実感できることをめざしていきます。そのために、私たちは地域社会を牽引する存在であり続けなければなりません。私たちだからこそできる運動を率先して展開し、幸せを実感できるまちを実現していきます。

2018年度スローガン

公益社団法人 長井青年会議所 2018年度 スローガン

Change for the future
～夢と希望あふれる未来のために～

公益社団法人 日本青年会議所 2018年度 スローガン

感謝の心を以て、誠を尽くそう

～限りなき可能性を信じて～

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会
2018年度 スローガン

覚悟をもって挑戦し続けよう

～限りなき可能性を信じて～

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
2018年度 スローガン

終わりなき「恩」のやりとりから生まれる

夢と笑顔溢れる「やまがた」の実現



所 感

公益社団法人長井青年会議所

第 53 代理事長 梅津 壮一郎

予定者から1年と数か月、今振り返ってみるとあっという間の2018年度でした。2010年に長井青年会議所入会以来、これまでの活動を通じて諸先輩方から多くを学び、役職や出向など様々な経験を重ね、しっかりと心の準備をして挑んだ理事長職ではありましたが、時には悩み、時には不安にかられ、自問自答を何度も繰り返してきました。それでも何とかこの理事長職という大役を無事やり遂げられたのは、メンバーの皆様のご協力とご尽力に他なりません。至らないこの私を1年間支えて頂きましたことに感謝申し上げます。

長井青年会議所のメイン事業である「地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯」、「ながい寺子屋」の継続事業は、地域に求められる事業として定着し、外部協力団体など多くの方々のご支援とご協力のもと、さらに進化した形で実施する事が出来たと感じております。継続事業ではありますが、新たな試みにも積極的にチャレンジし、参加された皆様に感動を与えられる事業だったと感じております。また、長井法人会と共同主催でおこなった尾木直樹講演会では、「子どもも大人も居心地の良い 学校・家庭・地域社会」をテーマに開催し、多くの方に来場いただき、期待に応えて余りある事業であったと感じております。次世代を担う子どもたちが夢や希望を持ち、明るい未来に向かってたくましく成長できるよう、地域一体となった共育がより充実していくことを願っております。会員拡大は10名を目標に掲げ、組織一体となって取り組んできました。しかし、会員拡大の先頭に立つ理事長として、結果が出せず大変申し訳なく思います。会員拡大で思うような結果が出せなかったことが、1年間の活動の最も悔やむところであります。全ての事柄がそうであるように、すぐに結果が出るという事はなく地道な歩みが実り、必ずやいつか花開くものだと思います。2019年度は直前理事長として、この拡大運動は最優先事項として継続していきたいと考えております。

「Change for the future」を基本理念に掲げ1年間活動を行ってきましたが、私たち青年会議所は事業を実施する事が目的なのではなく、地域住民の意識を変えていく「市民意識変革団体」であり、地域の未来をより良く変えていく原動力となって行かなければなりません。この長井・西置賜を、もっともっと「明るい豊かな地域」にしていく為に、JC活動を通して、まずは自分自身の意識を変え、そこから地域の方々を巻き込み、自分たちの地域や子供たちに関心を持つように意識を変えていかなければなりません。そのような意識を変革する機会をこれからも提供し続けることが、長井青年会議所の重要な担いの一つであり存在意義だと思います。

最後になりますが、長井青年会議所の理事長をやって本当に良かったと思うと共に、メンバーの皆様の力強いお支えがあって私を理事長にいただいたと実感しております。また、このような素晴らしい組織のトップとして1年間活動できたことは、私のこれからの人生の中で大きな財産になることと思います。皆様から頂いたこのご恩を地域に還元していけるよう、これからも精一杯青年会議所運動や様々な活動に精進していく所存でございます。全てのメンバーに心より感謝と御礼を申し上げ、私の所感といたします。

幸せな1年間でした。本当にありがとうございました！

所 感

副理事長 齋藤 圭央

今年度、ひとづくり委員会担当副理事長の職をお預かりし1年間活動を行ってまいりました。検証が難しい委員会であることは理解していましたが、過去の事業を含め考えさせられることの多い事業ばかりでした。青年会議所として考えるべき事業も多く、反省点、引き継ぎ事項では伝えきれないことがきつとあったと思います。青少年育成に取り組む委員会であるその中で、自分たちやメンバーにも新たな気付きを与え、事業を構築していくことは難しい事です。どれだけの気付きを得ることができたか心配はありましたが、今は実施できたことに安堵しています。様々な事業を通し委員会メンバーにはたくさんの気付きがあった1年だったと思います。私自身改めて気付いたことや気付かされたこともあり、実りある年であったと感じています。良かったこと、反省点、様々な今年の想いや経験を次年度以降に活かし、理事会や委員会の場でしっかりと意見が言えるようになっていただきたいと思います。

最後になりますが、1年間ひとづくり委員会の事業にご協力いただきましてありがとうございます。委員会を代表して感謝申し上げます。

所 感

副理事長 船山 裕紀

今年度梅津理事長の下、副理事長という役職を仰せつかり1年間活動してまいりました。まちづくり委員会の担当副理事長として予定者段階から、今年度10年という大きな節目を迎えた地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」に全力を注いでまいりました。4月の協力団体の方々との交流会に始まり、6月に行われた夢灯り、12月の会員交流例会に至るまで、まちづくりの灯を灯し続けた夢のような1年間でした。夢灯り当日、会場一杯に灯された子供たちの夢、お越しいただいた多数のお客さま、そして何より当事業にご協賛・ご協力いただきました本当にたくさんの方々に支えられ、正に、「みんなで灯した 夢灯」だったと感じると共に、「灯」は「想い」であることを確信いたしました。これからもまちづくりへの想いを絶やすことなく、仲間と協力し合い活動・運動に邁進してまいりましょう。最後に、まちづくり委員会と供に想いを灯し続けて下さいました皆さまに心より感謝申し上げ所感とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

所 感

議長 井上 典嗣

今年度、会員拡大実践会議議長の職をお預かりし、一年間活動を行ってまいりました。会員拡大運動、人材育成事業と2つの柱で、新入会員の開拓と会員の育成に関わる事業と展開してまいりましたが、会議体としての会員拡大の推進がなかなか思うように進まず、結果を出す事ができなかったのが残念でした。また、副議長に渡部清隆君を預けていただきましたが、彼の能力を十分に引き出すことができなかったことも大変申し訳なく思っております。人材育成の担いもあった訳ですが、一人前のJAYCEEを育成するために、会員一人ひとりが新入会員の育成に積極的に関わり、共に成長できるLOM内での環境を整えることが必要であると考えております。すべての会員が会員拡

大の担当者であり、人材育成の担当者であるという意識をしっかりと持ち、長井青年会議所を未来へ永続させるために、組織強化へ取り組んでまいりましょう。最後に、会議体に対してご協力いただきました関係者、長井 JC メンバーの皆様に、心から感謝申し上げ所感とさせていただきます。本当に一年間ありがとうございました。

所 感

専務理事 小関 幸一

2018 年度、専務理事の職をお預かりし、成長の機会を頂きましたこと誠にありがとうございます。

事務局の職は1年間を通して、理事会の運営から各種大会の取りまとめ等、数々の依頼や確認事項、公私共に忙しい中でも行っていかなければなりません。私自身、あっという間で気を休む時もないままに一年が過ぎたと感じております。初めての理事でもありながら、梅津事務局長、小松総務局長には期日までに職務を遂行頂きました。また、玉橋次長、飯澤事務局補佐には経験を生かして、私が足りない部分を積極的にサポート、職務遂行を頂きました。皆さんと一緒に事務局として活動できたこととてもうれしく思います。

充実した時間を頂戴し活動できることは、メンバー、会社、家族の理解がなければ続けていくことは困難です。どうしても忙しくなると、自分に余裕がなくなり人に対して配慮が足りなくなることがあります。常に感謝の気持ちをもって、今後もJC活動を行って参ります。ブロック協議会・各地会員会議所役員の皆さん、各地域団体、学生の方など、沢山のご縁を頂き大変お世話になりました。今年、成長させて頂きましたことを次年度、活かし長井・西置賜が活気溢れるまちになるように私たちが当事者意識をもち、明るい豊かな社会の実現に向け、メンバーの皆さんと共に歩んで参ります。1年間、本当にありがとうございました。

【2018 年度 常任理事会・理事役員会議 出席状況】

No	役職名	理事	第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回		第10回		第11回		第12回		決算理事会	
			常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事
1	理事長	梅津 壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
2	直前理事長	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	監事	板垣 洋一	△	×	△	×	△	×	△	×	△	○	△	○	△	×	△	○	△	×	△	×	△	×	△	×
4	副理事長	齋藤 圭央	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	副理事長	船山 裕紀	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
6	議長	井上 典嗣	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	専務理事	小関 幸一	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	ひとづくり委員会委員長	齋藤 憲幸	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○
9	まちづくり委員会委員長	小林 和正	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○
10	副議長	渡部 清隆	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×
11	事務局長	梅津 拓郎	△	×	△	×	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	×	△	○
12	総務局長	小松 祐一郎	△	×	△	○	△	○	△	○	△	×	△	×	△	○	△	×	△	○	△	○	△	○	△	○
13	事務局次長	玉橋 恵子	△	○	△	○	△	×	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	×	△	○	△	○	△	×

【理事役員会報告】

会議名	期日と場所	議題	出席者
第1回理事 予定者会議	2017年10月6日(金) はぎ苑	討議事項 1、理事長所信（案）について 協議事項 1、2018年度 基本理念・基本方針・重点事業（案）について 2、2018年度 職務分掌（案）について 3、2018年度 組織図（案）について 4、2018年度 基本運営（案）について	11名
第2回理事 予定者会議	2017年10月19日(木) J C ルーム	協議事項 1、2018年度 基本理念・基本方針・重点事業（案）について 2、2018年度 職務分掌（案）について 3、2018年度 組織図（案）について 4、2018年度 基本運営（案）について 5、2018年度 基本計画書について 6、2018年度 公式スケジュール（案）について 審議事項 1、2018年度 基本理念・基本方針・重点事業（案）について 2、2018年度 基本運営（案）について	9名
第3回理事 予定者会議	2017年11月8日(水) J C ルーム	協議事項 1、2018年度 職務分掌（案）について 2、2018年度 組織図（案）について 3、2018年度 基本計画書について 4、地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯について(まちづくり委員会) 5、新春賀詞交歓会について(事務局) 6、ホームページ運営について(総務局) 7、2018年度 当初予算（案）について(事務局) 8、2018年度 公式スケジュール（案）について 9、LOM スローガンについて(事務局) 審議事項 1、2018年度 職務分掌（案）について 2、2018年度 組織図（案）について	10名
第4回理事 予定者会議	2017年11月22日(水) J C ルーム	協議事項 1、2018年度 基本計画書について 2、地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯について(まちづくり委員会) 3、新春賀詞交歓会について(事務局) 4、ホームページ運営について(総務局) 5、2018年度 当初予算（案）について(事務局) 6、2018年度 公式スケジュール（案）について 7、LOM スローガンについて（事務局）	12名

		審議事項 1、2018 年度 基本計画書について 2、地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯について(まちづくり委員会) 3、新春賀詞交歓会について(事務局) 4、ホームページ運営について(総務局) 5、2018 年度 当初予算(案)について(事務局) 6、2018 年度 公式スケジュール(案)について 7、LOM スローガンについて(事務局)	
第 2 回理事 役員会議	2018 年 2 月 1 日(木) J C ルーム	協議事項 1、夢灯協力団体交流例会について(まちづくり委員会) 2、地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」について(まちづくり委員会) 3、会員拡大運動について(会員拡大実践会議) 審議事項 1、会員拡大運動について(会員拡大実践会議)	9 名
第 3 回理事 役員会議	2018 年 3 月 1 日(木) J C ルーム	協議事項 1、第 27 回 JC 杯中学野球大会(春季大会)について(ひとづくり委員会) 2、花育プロジェクトについて(ひとづくり委員会) 3、夢灯協力団体交流例会について(まちづくり委員会) 4、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』について(まちづくり委員会) 審議事項 1、第 27 回中学野球大会(春季大会)(案内文・依頼文)について(ひとづくり委員会) 2、花育プロジェクト(謝礼金請求書)について(ひとづくり委員会) 3、事業計画書_まちづくり委員会_夢灯協力団体交流例会 (日時・場所・配布文書・実施プログラム)について(まちづくり委員会) 4、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』(対外配布資料)について(まちづくり委員会)	10 名
第 4 回理事 役員会議	2018 年 4 月 5 日(木) J C ルーム	協議事項 1、第 27 回 JC 杯中学野球大会(春季大会)について(ひとづくり委員会) 2、花育、はじめてみませんか?について(ひとづくり委員会) 3、ながい寺子屋について(ひとづくり委員会) 4、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』について(まちづくり委員会) 5、夢灯協力団体交流例会について(まちづくり委員会) 6、伝えたい。この想い。～わかりやすい話し方講座～について(会員拡大実践会議) 審議事項 1、第 27 回 JC 杯中学野球大会(春季大会)について(ひとづくり委員会) 2、花育、はじめてみませんか?(日時・場所・協力承諾書関連資料)について(ひとづくり委員会) 3、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』(夢灯実施、お礼状)について(まちづくり委員会) 4、夢灯協力団体交流例会について(まちづくり委員会) 5、伝えたい。この想い。～わかりやすい話し方講座～について(会員拡大実践会議)	9 名

第5回理事 役員会議	2018年5月2日(水) JC ルーム	協議事項 1、小笠原昭夫君入会(仮入会)承認の件(会員拡大実践会議) 2、花育、はじめてみませんか?について(ひとづくり委員会) 3、ながい寺子屋について(ひとづくり委員会) 4、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』について(まちづくり委員会) 審議事項 1、小笠原昭夫君入会(仮入会)承認の件(会員拡大実践会議) 2、花育、はじめてみませんか?(アンケート・チラシ・名義使用申請書)について(ひとづくり委員会) 3、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』について(まちづくり委員会)	10名
第6回理事 役員会議	2018年6月7日(木) JC ルーム	討議事項 1、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』について(まちづくり委員会) 協議事項 1、横澤吉紀君入会(仮入会)承認の件(会員拡大実践会議) 2、花育、はじめてみませんか?事業計画について(ひとづくり委員会) 3、講演会事業計画について(ひとづくり委員会) 4、JC杯中学野球大会補正事業予算書について(ひとづくり委員会) 5、JC杯中学野球大会決算報告書について(ひとづくり委員会) 6、2018年度公式スケジュール変更について(事務局) 審議事項 1、横澤吉紀君入会(仮入会)承認の件(会員拡大実践会議) 2、花育、はじめてみませんか?事業計画について(ひとづくり委員会) 3、講演会(チラシ、ポスター)について(ひとづくり委員会) 4、JC杯中学野球大会補正事業予算書について(ひとづくり委員会) 5、JC杯中学野球大会決算報告書について(ひとづくり委員会) 6、2018年度公式スケジュール変更について(事務局)	11名
第7回理事 役員会議	2018年7月5日(木) JC ルーム	討議事項 1、講演会(チラシ、ポスター、入場整理券)について(ひとづくり委員会) 協議事項 1、花育、はじめてみませんか?(事業後市報掲載文)について(ひとづくり委員会) 2、ながい寺子屋について(ひとづくり委員会) 3、納涼パーティーについて(ひとづくり委員会) 4、4月例会夢灯協力団体交流例会補正予算書について(まちづくり委員会) 5、4月例会夢灯協力団体交流例会決算報告書について(まちづくり委員会) 6、新春賀詞交歓会補正予算書について(事務局) 7、新春賀詞交歓会決算報告書について(事務局) 審議事項 1、花育、はじめてみませんか?(事業後市報掲載文)について(ひとづくり委員会) 2、納涼パーティー(案内文)について(ひとづくり委員会) 3、4月例会夢灯協力団体交流例会補正予算書について(まちづくり委員会) 4、4月例会夢灯協力団体交流例会決算報告書について(まちづくり委員会) 5、新春賀詞交歓会補正予算書について(事務局) 6、新春賀詞交歓会決算報告書について(事務局)	10名

第 8 回理事 役員会議	2018 年 8 月 6 日 (月) JC ルーム	協議事項 1、ながい寺子屋について(ひとづくり委員会) 2、納涼パーティーについて(ひとづくり委員会) 3、尾木直樹講演会について(ひとづくり委員会) 4、人材育成事業補正事業予算書について (会員拡大実践会議) 5、人材育成事業事業報告決算書について (会員拡大実践会議) 6、小笠原昭夫君入会(正会員)承認について (会員拡大実践会議) 7、2019 年度理事長候補者選出について (次年度役員選考委員会) 8、2019 年度理事候補者選出について (次年度役員選考委員会) 9、8 月通常総会について (事務局) 10、次年度理事長候補者所信(案)発表例会について (総務局) 11、8 月補正予算書について (事務局) 審議事項 1、ながい寺子屋 (日時、場所、チラシ、承諾書、申請書) について(ひとづくり委員会) 2、納涼パーティーについて(ひとづくり委員会) 3、人材育成事業補正事業予算書について (会員拡大実践会議) 4、人材育成事業事業報告決算書について (会員拡大実践会議) 5、小笠原昭夫君入会(正会員)承認について (会員拡大実践会議) 6、2019 年度理事長候補者選出について (次年度役員選考委員会) 7、2019 年度理事候補者選出について (次年度役員選考委員会) 8、8 月通常総会について (事務局) 9、8 月補正予算書について (事務局)	10 名
第 9 回理事 役員会議	2018 年 9 月 6 日 (木) JC ルーム	協議事項 1、ながい寺子屋について(ひとづくり委員会) 2、尾木直樹講演会について(ひとづくり委員会) 3、第 27 回 JC 杯中学野球大会一年生大会について(ひとづくり委員会) 4、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップについて (まちづくり委員会) 5、横澤吉紀君入会(正会員)承認について (会員拡大実践会議) 6、牛澤栄一君入会(仮会員)承認について (会員拡大実践会議) 7、加藤渉君入会(仮会員)承認について (会員拡大実践会議) 8、置賜 4JC 合同例会について(事務局) 9、次年度理事長候補者所信発表例会について(総務局) 審議事項 1、ながい寺子屋について(ひとづくり委員会) 2、尾木直樹講演会について(ひとづくり委員会) 3、第 27 回 JC 杯中学野球大会一年生大会 (日時・場所・学校案内文・協賛依頼文) について(ひとづくり委員会) 4、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ(日時・場所)について(まちづくり委員会) 5、横澤吉紀君入会(正会員)承認について (会員拡大実践会議) 6、牛澤栄一君入会(仮会員)承認について (会員拡大実践会議) 7、加藤渉君入会(仮会員)承認について (会員拡大実践会議) 8、置賜 4JC 合同例会 (開催日) について(事務局) 9、次年度理事長候補者所信発表例会について(総務局)	11 名

第 10 回理事 役員会議	2018 年 10 月 4 日 (木) JC ルーム	協議事項 1、第 27 回 JC 杯中学野球大会一年生大会について(ひとづくり委員会) 2、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップについて (まちづくり委員会) 3、置賜 4JC 合同例会について(事務局) 4、卒業式について(事務局) 審議事項 1、第 27 回 JC 杯中学野球大会一年生大会について(ひとづくり委員会) 2、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ(実施内容・講師承諾書)について(まちづくり委員会) 3、置賜 4JC 合同例会について(事務局) 4、卒業式 (開催日時、場所、案内文) について(事務局)	9 名
第 11 回理事 役員会議	2018 年 11 月 1 日 (木) JC ルーム	協議事項 1、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップについて (まちづくり委員会) 2、次年度理事長候補者所信発表例会補正予算書について(総務局) 3、次年度理事長候補者所信発表例会事業報告書について(総務局) 4、卒業式について(事務局) 5、「青少年育成交流事業」子どもゆめ基金助成金申請書について (2019 年度事務局) 審議事項 1、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップについて (まちづくり委員会) 2、次年度理事長候補者所信発表例会補正予算書について(総務局) 3、次年度理事長候補者所信発表例会事業報告書について(総務局) 4、卒業式について(事務局) 5、「青少年育成交流事業」子どもゆめ基金助成金申請書について (2019 年度事務局)	11 名
第 12 回理事 役員会議	2018 年 12 月 6 日 (木) JC ルーム	協議事項 1、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』 補正事業予算書について(まちづくり委員会) 2、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』 事業報告決算書について(まちづくり委員会) 3、年間事業計画書の変更について (まちづくり委員会) 4、牛澤栄一君入会(正会員)承認について(会員拡大実践会議) 5、加藤渉君入会(正会員)承認について (会員拡大実践会議) 6、遠藤譲一君退会について (会員拡大実践会議) 7、JC 杯中学野球大会一年生大会 補正事業予算書について (ひとづくり委員会) 8、JC 杯中学野球大会一年生大会 事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 9、ながい寺子屋 補正事業予算書について (ひとづくり委員会) 10、ながい寺子屋 事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 11、花育、はじめてみませんか？ 補正事業予算書について (ひとづくり委員会) 12、花育、はじめてみませんか？ 事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 13、講演会 事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 14、納涼パーティー 事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 15、2019 年度基本資料について (2019 年度事務局) 16、2019 年度事業計画について (2019 年度事務局) 17、新春賀詞交歓会について (2019 年度事務局) 18、ホームページ運営について (2019 年度事務局) 19、2019 年度 当初予算 (案) について (2019 年度事務局)	10 名

		20、2019 年度 公式スケジュール（案）について（2019 年度事務局） 21、2019 年度 スローガン（案）について（2019 年度事務局） 22、12 月補正予算書 について（事務局） 審議事項 1、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』 補正事業予算書について（まちづくり委員会） 2、地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』 事業報告決算書について（まちづくり委員会） 3、年間事業計画書の変更について（まちづくり委員会） 4、牛澤栄一君入会（正会員）承認について（会員拡大実践会議） 5、加藤渉君入会（正会員）承認について（会員拡大実践会議） 6、遠藤譲一君退会について（会員拡大実践会議） 7、JC 杯中学野球大会一年生大会 補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 8、JC 杯中学野球大会一年生大会 事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 9、ながい寺子屋 補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 10、ながい寺子屋 事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 11、花育、はじめてみませんか？ 補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 12、花育、はじめてみませんか？ 事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 13、納涼パーティー 事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 14、12 月補正予算書 について（事務局） 15、2019 年度基本資料について（2019 年度事務局） 16、2019 年度事業計画について（2019 年度事務局） 17、新春賀詞交歓会について（2019 年度事務局） 18、ホームページ運営について（2019 年度事務局） 19、2019 年度 当初予算（案）について（2019 年度事務局） 20、2019 年度 公式スケジュール（案）について（2019 年度事務局） 21、2019 年度 スローガン（案）について（2019 年度事務局）	
決算理事 役員会議	2019 年 1 月 11 日（金） JC ルーム	協議事項 1、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ 補正事業予算書について（まちづくり委員会） 2、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ 事業報告決算書について（まちづくり委員会） 3、会員拡大運動補正事業予算書について（会員拡大実践会議） 4、会員拡大運動事業報告決算書について（会員拡大実践会議） 5、講演会事業報告決算について（ひとづくり委員会） 6、ながい寺子屋補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 7、ながい寺子屋事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 8、ホームページ運営事業報告について（総務局） 9、置賜 4 J C 合同例会補正事業予算書について（事務局） 10、置賜 4 J C 合同例会事業報告決算書について（事務局） 11、卒業式補正事業予算書について（事務局） 12、卒業式事業報告決算書について（事務局） 13、監事辞任について（事務局） 14、1 月総会について（事務局） 15、2018 年度決算（案）について（事務局）	10 名

		審議事項 1、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ 補正事業予算書について(まちづくり委員会) 2、会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ 事業報告決算書について(まちづくり委員会) 3、会員拡大運動補正事業予算書について (会員拡大実践会議) 4、会員拡大運動事業報告決算書について (会員拡大実践会議) 5、講演会事業報告決算について (ひとづくり委員会) 6、ながい寺子屋補正事業予算書について (ひとづくり委員会) 7、ながい寺子屋事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 8、ホームページ運営事業報告について (総務局) 9、置賜4J C合同例会補正事業予算書について (事務局) 10、置賜4J C合同例会事業報告決算書について (事務局) 11、卒業式補正事業予算書について (事務局) 12、卒業式事業報告決算書について (事務局) 13、監事辞任について (事務局) 14、1月総会について (事務局) 15、2018年度決算(案)について (事務局)	
--	--	--	--

【会議報告】

会議名	期日	会場	登録者
京都会議	1月19日(金)～ 21日(日)	京都	梅津壮一郎、齋藤圭央、小関幸一
金沢会議	2月16日(金)～ 18日(日)	金沢	-
ASPAC	5月24日(木)～ 27日(日)	鹿児島	-
サマーコンファレンス	7月21日(土)～ 22日(日)	横浜	梅津壮一郎、板垣洋一、小関幸一
JCI世界会議	10月30日(火) ～11月3日(土)	ゴア	-

【会員動向】

卒業生 2名	板垣洋一、飯澤喜治
入会者 4名	小笠原昭夫、横澤吉紀、牛澤栄一、加藤渉
休会者 0名	
退会者 1名	遠藤譲一

【総会報告】

総会種類	日時	場所	議案
1 月通常総会	1 月 30 日 (火) 19 : 00～	グランパリス パーティリゾート	第 1 号議案 2017 年度決算 (案) 承認の件 第 2 号議案 2018 年度理事役員選任の件 第 3 号議案 監事選任の件
8 月通常総会	8 月 23 日 (木) 18 : 00～	グランパリス パーティリゾート	第 1 号議案 2019 年度理事候補者承認の件 第 2 号議案 2019 年度理事長候補者承認の件 第 3 号議案 2019 年度監事選任の件

【大会報告】

大会名	期日	会場	登録者
ブロック大会 米沢大会	7 月 7 日 (土)	米沢市	梅津壮一郎、板垣洋一、齋藤圭央、船山裕紀、井上典嗣、齋藤憲幸、横澤吉紀、小林和正、渋谷祥平、小笠原昭夫、梅津拓郎、玉橋恵子
東北青年フォーラム in 三沢	9 月 1 日 (土) ～2 日 (日)	青森県三沢市	梅津壮一郎、板垣洋一、小関幸一
全国大会 宮崎大会	10 月 4 日 (木) ～ 10 月 7 日 (日)	宮崎県宮崎市	梅津壮一郎、板垣洋一、小関幸一

【祝 事】

周年事業名	期日	場所	出席者
高畠 J C 40 周年	6 月 2 日 (日)	高畠町	梅津壮一郎、板垣洋一、齋藤圭央、船山裕紀、齋藤憲幸、小林和正、小関幸一

【例会報告】

例会	期日	会場	主管	内 容
1 月例会	1 月 30 日 (火)	グランパリス パーティリゾート	2017 年度 事務局	第 1 号議案 2017 年度決算 (案) 承認の件 第 2 号議案 2018 年度理事役員選任の件 第 3 号議案 監事選任の件
2 月例会	2 月 20 日 (火)	熊野大社 證誠殿	事務局	第 4 エリア ブロック会長公式訪問
3 月例会	3 月 9 日	グランパリス	会員拡大	異業種交流会

	(金)	パーティリゾート	実践会議	
4 月例会	4 月 21 日 (土)	中央地区公民館	まちづくり委員会	夢灯協力団体交流例会
5 月例会	5 月 16 日 (水)	グランパリス パーティリゾート	会員拡大 実践会議	伝えたい。この想い。わかりやすい話し方講座
6 月例会	6 月 23 日 (土)	あやめ公園	まちづくり委員会	みんなで灯そう夢灯
7 月例会	7 月 7 日 (土)	米沢市	事務局	ブロック大会米沢大会
8 月例会	8 月 23 日 (木)	グランパリス パーティリゾート	事務局	第 1 号議案 2019 年度理事候補者承認の件 第 2 号議案 2019 年度理事長候補者承認の件 第 3 号議案 2019 年度監事選任の件
9 月例会	9 月 21 日 (金)	タスパークホテル フュージョン	事務局	次年度理事長候補者所信発表例会
10 月例会	10 月 10 日 (水)	高畠町中央公民館	事務局	置賜 4 J C 合同例会
11 月例会	11 月 26 日 (月)	中央会館	事務局	卒業式
12 月例会	12 月 15 日 (土)	白鷹町文化交流セ ンターあゆーむ	ひとづくり委員会	会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ

【事業報告】

事業名	期日	場所	主管
新春賀詞交歓会	1 月 15 日 (火)	はぎ苑	事務局
第 27 回 J C 杯中学野球大会	5 月 3 日 (木) ~4 日 (金)	飯豊町町民野球場	ひとづくり委員会
フラワーボランティア	6 月 17 日 (日)	最上川河川緑地公園	ひとづくり委員会
納涼パーティー	8 月 23 日 (木)	グランパリスパーティ リゾート	ひとづくり委員会
ながい寺子屋	9 月 29 日 (土)	いきいき深山郷 のど か村	ひとづくり委員会
尾木直樹講演会	10 月 3 日 (水)	長井市民文化会館	ひとづくり委員会
J C 杯中学野球大会 (1 年生大会)	10 月 6 日 (土)	TBC 球場	ひとづくり委員会

【例会出席状況】

	役職名	理事	氏名	1月例会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	8月例会	9月例会	10月例会	11月例会	12月例会	出席回数	出席率
1	理事長	◆	梅津 壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	11	92%
2	直前理事長	◆	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	10	83%
3	監 事		板垣 洋一	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	9	75%
4	副理事長	◆	齋藤 圭央	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
5	副理事長	◆	船山 裕紀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	11	92%
6	会員社大実践会副議長	◆	井上 典嗣	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
7	専務理事	◆	小関 幸一	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	83%
8	ひとづくり委員会委員長	◆	齋藤 憲幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
9	副委員長	◇	小松 雄一	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	6	50%
10			大泉 紀也	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	7	58%
11			中川 一聖	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	2	17%
12			連藤 穰一	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
13			横澤 吉紀						○	○	×	○	○	○	○	6	50%
14	まちづくり委員会委員長	◆	小林 和正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
15	副委員長	◇	渋谷 祥平	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	9	75%
16			吉川 明紀	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	8	67%
17			丸山 昂	×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	8	67%
18			飯澤 栄人	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
19			小笠原 昭夫				○	×	○	○	×	○	○	○	○	7	58%
20	会員社大実践会副副議長	◆	渡部 清隆	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	1	8%
21	事務局長	◆	梅津 拓郎	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	5	42%
22	総務局長	◆	小松 祐一郎	○	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	7	58%
23	事務局次長	◆	玉橋 恵子	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	10	83%
24	事務局補佐		飯澤 喜治	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	5	42%
25	仮会員		牛澤 栄一									○	×	○	○	3	25%
26	仮会員		加藤 渉									×	×	○	×	1	8%
出席数				16	11	13	16	13	21	13	15	15	13	22	14		
出席率				73%	50%	59%	70%	57%	88%	54%	63%	58%	50%	85%	54%		

公益社団法人長井青年会議所
2018年度 代表理事職務執行報告

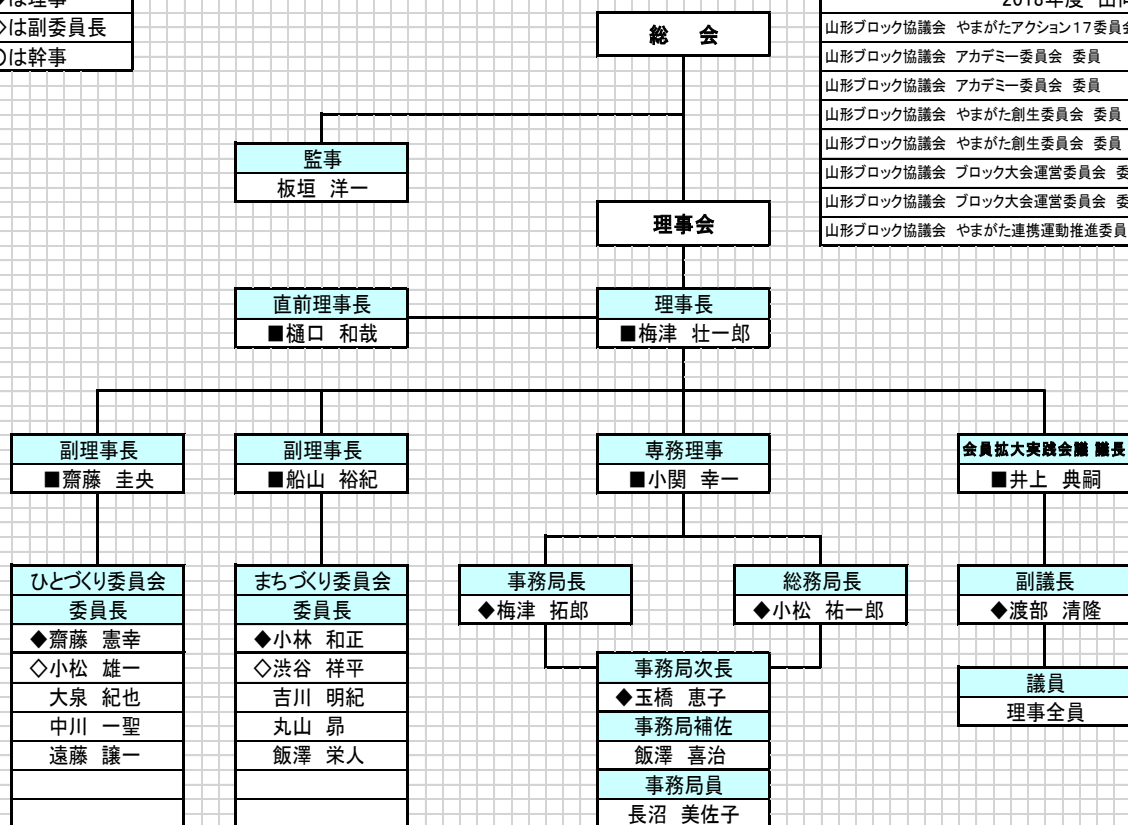
理事長 梅津壮一郎

期 日	内 容	場 所	代理出席者
10月29日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所候補者会議	鶴岡市 東京第一ホテル鶴岡	
11月25日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所候補者会議	大石田町 町民交流センター	
12月2日	東北地区協議会 第1回会員会議所候補者会議	福島市 エルティエウエディング	
12月18日	置賜4JC新旧理事長・専務会	南陽市 御殿守	
1月4日	長井市新春祝賀会	タスパークホテル	
1月11日	文化講演会(仮称) 第2回検討委員会	タスパークホテル	
1月12日	長井商工会議所新春祝賀会	タスパークホテル	
1月16日	長井市長・白鷹町長へ新春のご挨拶	長井市役所・白鷹町役場	
1/19～21	日本青年会議所 京都会議 日本JC総会	京都市 京都国際会議場	
1月22日	飯豊町長・小国町長へ新春のご挨拶	飯豊町役場・小国町役場	
1月25日	山形JC新春賀詞交歓会	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
1月25日	ながい雪灯り回廊まつり 第2回実行委員会	タスパークホテル	齋藤圭央
1月27日	第1回会員会議所会議&アカデミー開講式	鶴岡市 グランドエル・サンほか	
1月27日	山形ブロック協議会新春交歓会	鶴岡市 グランドエル・サン	
2月10日	東北地区協議会 ゼミナール委員会開講式 理事長サミット	仙台市 仙台迎賓館	
2月19日	第1回あやめまつり委員会	道の駅 川のみなと長井	
2月21日	長井中央ロータリークラブ 例会	長井観光はぎ苑	
2月24日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議	高畠町 JAおきたま高畠支店	
3月7日	国際ソロプチミスト長井 第3回チャリティー和インパーティー	タスパークホテル	
3月8日	長井市役所新庁舎整備説明会	タスパークホテル	
3月8日	第12回長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	
3月8日	文化講演会(仮称) 第3回検討委員会	タスパークホテル	齋藤圭央
3月10日	文化的景観シンポジウム	タスパークホテル	
3月12日	第2回あやめまつり委員会	道の駅 川のみなと長井	
3月13日	第2次地域福祉活動計画 3年目ふりかえりの会	長井市社会福祉協議会	
3月13日	長井市まちづくり青少年育成市民会議理事会	長井市教育委員会	
3月17日	第2回フラワー長井線利用拡大シンポジウム	道の駅 川のみなと長井	
3月23日	山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議	東京都 日本青年会議所会館	
3月27日	長井ロータリークラブ 例会	タスパークホテル	
4月13日	第2回あやめまつり委員会	道の駅 川のみなと長井	
4月24日	長井市青年団体連絡協議会 役員会	喜美乃家	
4月27日	山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議	山形市 霞城セントラル	
4月27日	会頭公式訪問	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
5月2日	長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	
5月7日	第3回あやめまつり委員会	あやめ公園	
5月8日	長井市青年団体連絡協議会 第1回運営委員会	長井市教育委員会	
5月10日	長井市観光協会 理事会	タスパークホテルホテル	
5月11日	置賜4JC理事長・専務会	福島市 向瀧	
5月21日	長井市防犯協会 総会	置賜生涯学習プラザ	
5月22日	山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議	天童市 滝の湯	
5月24日	山形鉄道公共交通活性化協議会	タスパークホテル	
5月24日	フラワー長井線利用拡大協議会 総会	タスパークホテル	
5月25日	長井市観光協会 総会	タスパークホテル	
5月28日	文化講演会(仮称) 第4回検討委員会	タスパークホテル	

6月2日	高畠青年会議所 40周年式典 祝賀会	高畠町 よねおり観光センター	
6月12日	講演会 第2回実行委員会	タスパークホテルホテル	齋藤圭央
6月13日	山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議	河北町 かほくべに花プラザ	
6月15日	あやめまつりオープニングセレモニー	あやめ公園	
6月15日	長井市振興審議会 第1回審議会	保健センター	
6月16日	公益社団法人長井教育会 総会	交流センターふらり	
6月18日	置賜4JC理事長・専務会	南陽市 金田屋魚店	
6月19日	ふれあい福祉まつり 第1回プロジェクト委員会	長井市老人福祉センター	
6月20日	長井市まちづくり青少年育成市民会議 総会	交流センターふらり	
6月26日	長井市勤労青少年ホーム親和会 総会	酒楽	
6月27日	長井商工会議所 会員の集い	タスパークホテル	
6月29日	山形鉄道株式会社 定時株主総会	置賜総合支庁西置賜地域振興局	
7月2日	長井市災害ボランティアセンター連絡会	置賜生涯学習プラザ	
7月3日	講演会 第1回実行委員会	タスパークホテル	齋藤憲幸
7月3日	中央地区地域づくり計画策定委員会	中央地区公民館	
7月6日	山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議	米沢市	
7月7日	山形ブロック協議会 第51回山形ブロック大会米沢大会	米沢市	
7月21日	サマーコンファレンス 7/21～7/22	横浜市	
7月23日	ふれあい福祉まつり 第2回プロジェクト委員会	長井市老人福祉センター	
7月27日	第68回社会を明るくする運動長井大会	置賜生涯学習プラザ	
8月1日	山形ブロック協議会 第8回役員会	交流センターふらり	
8月8日	長井市明るい選挙推進協議会 常任委員会・総会	長井市役所	
8月9日	第5回長井市新庁舎整備市民検討委員会	長井市役所	
8月9日	尾木直樹講演会 第2回実行委員会	タスパークホテル	
8月27日	山形ブロック協議会 第1回臨時会員会議所	山形市 きらやかスタジアム会議室	齋藤圭央
8月29日	中央地区地域づくり計画策定委員会	中央地区公民館	
9月1日	東北青年フォーラム 9/1～9/2	三沢市	
9月6日	尾木直樹講演会 第3回実行委員会	タスパークホテル	齋藤圭央
9月7日	ふれあい福祉まつり 第3回プロジェクト委員会	長井市老人福祉センター	
9月19日	置賜4JC理事長・専務会	長井市 BBQ居酒屋えんじん	
9月22日	山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議	酒田市	齋藤圭央
10月5日	日本青年会議所 総会	宮崎市	
10月21日	山形県青少年健全育成県民大会	米沢市 伝国の杜	
10月23日	長井市観光協会 まつり事業実行委員会 事業報告・検討会	長井観光はぎ苑	
10月27日	山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議	村山市	
10月27日	山形ブロック協議会 アカデミー閉校式	村山市	
11月3日	長井市市民表彰式	タスパークホテル	
11月9日	長井市振興審議会 第3回審議会	タスパークホテル	
11月23日	山形ブロック協議会 第10回会員会議所会議・卒業式	鶴岡市 グランドエルサン	
11月30日	東北地区協議会 第2回会員会議所会議	仙台市	小関幸一
12月17日	ながい雪あかり回廊まつり2019 第1回実行委員会	タスパークホテル	玉橋恵子
12月26日	置賜地域奥羽新幹線整備・米沢福島間トンネル整備実現同盟会総会	米沢市 グランドホクヨウ	齋藤圭央
12月27日	第14回長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	小関幸一

公益社団法人長井青年会議所 2018年度 組織図

■は常任理事
◆は理事
◇は副委員長
○は幹事



2018年度 出向者		
山形ブロック協議会	やまがたアクション17委員会 委員	井上 典嗣
山形ブロック協議会	アカデミー委員会 委員	丸山 昂
山形ブロック協議会	アカデミー委員会 委員	吉川 明紀
山形ブロック協議会	やまがた創生委員会 委員	大泉 紀也
山形ブロック協議会	やまがた創生委員会 委員	玉橋 恵子
山形ブロック協議会	ブロック大会運営委員会 委員	齋藤 圭央
山形ブロック協議会	ブロック大会運営委員会 委員	渋谷 祥平
山形ブロック協議会	やまがた連携運動推進委員会 委員	樋口 和哉

ひとづくり委員会 事業報告書

●担当副理事長 齋藤 圭央

●委員長 齋藤 憲幸

●副委員長 小松 雄一

●委員 中川 一聖

●委員 大泉 紀也

●委員 遠藤 譲一

●委員 横澤 吉紀

委員長所感

今年、ひとづくり委員会委員長という役職という大役をいただき、多くの学びと気づきをいただいた一年でした。その中で最も感じたことは一人では絶対にやり遂げることが出来なかったということでした。特に委員会メンバーには、何度も集まっていたいただき、夜遅くまでの話し合いや準備と本当に多くの力添えをいただきました。また、メンバーの皆様にも事業当日は多くのご協力をいただきありがとうございます。

ひとづくりということで子ども達の健全育成のために、花育という花や植物を通して思いやりの心を育む事業、中学生の野球大会を通して、自己過大解決力やコミュニケーション力の向上、伝統工芸体験を通して誇れるふるさとを知り「愛郷心」を深める事業、尾木直樹氏を講師にお招きし、学校、地域、家庭が連携して子どもを育む事業と様々な手法で事業を行いました。それぞれの事業に参加した子ども達や保護者の心の中にしっかりと刻み込まれた記憶となる事業となっていたのなら幸いです。

最後に、ご協力いただいた全ての皆様に感謝を申し上げ所感とさせていただきます。

第27回 JC 杯中学野球大会（春季）

1. 事業概要

長井・西置賜地域の中学校対抗でトナリ戦を行いました。

2. 実施日時：5月3日（木）15:00～17:00

4日（金）7:30～14:00 *2日間開催

3. 実施場所・会場：飯豊町民野球場

4. 事業対象者：長井・西置賜地域内の中学生

5. 参加者募集方法

長井・西置賜の中学校5校へ案内文を渡し、募集する。

6. 決算総額：¥38,332

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（4名）、その他メンバー：（4名）

◆外部

中学生・先生：（105名）

8. 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕長井市野球協会

〔協力〕西置賜地区中体連

〔主管〕西置賜地区中学校体育連盟野球専門部

〔協賛〕榊末広スクール・スポーツ部門

9. 実施プログラム

5月3日（木）

6:00 会場にて天候判断

雨天により 15:00 から1試合目を行うことに変更

15:00 第1試合 飯豊中対小国中

勝利校 小国中

17:00 試合終了後、明日の流れについて確認

17:15 解散

5月4日（金）

6:30 会場にて天候判断

7:30 メンバー集合

7:35 メンバー内説明会

7:40 運営責任者にあいさつ

監督会議・開会式の案内、会場運営確認

参加校顧問にあいさつ

参加料受領、監督会議と開会式案内

審判員にあいさつ

監督会議と開会式の案内、弁当準備の確認

8:00 監督会議

8:10 開会式

選手整列

開会の言葉：齋藤副理事長

トロフィー返還：前回優勝校・大会会長

（梅津理事長）

主催者挨拶：長井JC梅津理事長

大会副会長挨拶：中学軟式野球専門部部长

（小国中学校 教頭 服部先生）

審判挨拶：審判渡部さん

選手宣誓：代表校（長井南中学校）

注意事項連絡・閉会の言葉：運営責任者

（南中学校長岡先生）

8:55 始球式 理事長 梅津壮一郎

9:00 第2試合開始 長井北中対白鷹中

勝利校白鷹中

11:00 第3試合開始 小国中対長井南中

勝利校 長井南中

13:00 決勝戦開始 白鷹中対長井南中

優勝 長井南中

15:00 閉会式

選手整列

結果発表：司会

トロフィー授与：梅津理事長

講評：審判 渡部さん

閉会の言葉：齋藤副理事長

会場撤収（施錠等確認）

グラウンド担当学校事務室にあいさつ

10. 引き継ぎ事項

（引継ぎ事項）

- ・審判員はほとんどボランティアで来ているので、誰が手配しても来ていただけるかは難しい。
- ・負けた学校は基本的に帰るので、次の試合の塁審やボールボーイ、バックネット裏の手伝い等が出来なくなることがある。
- ・出場チームのユニフォームは、監督、コーチ、選手はすべて統一したもの（アンダーストッキングまで）とする。

（女性の場合のみ特例あり）

- ・コーチャーは上着は着用してはならない。
- ・会場設営する学校に何かしらの謝礼的なものがあってもいいのではないかな。

（長井南中はトイレにトイレトペーパーを置いていく）

- ・審判長・副大会長・運営責任者等の名前は学校側で担当が決まった時点で連絡をもらいたい旨も依頼済み。

（確認事項）

- ・決勝戦のコールドはあるのか？（決勝はコールド無しでも良いと思う。）
- ・会場アナウンスは誰が行うのか確認が不足していた。
- ・当日の会場設営（判断、会場整備等）は事前に確認が必要。
- ・メンバーの登録変更の有無
- ・シートノックは行うのか？（時間をあらかじめ確保する必要があるが、雨天時からの開催の場合

グラウンド状態によって無しになる。）

- ・4回裏からメンバー変更可能という確認があった。
- ・ボール回しの有無の確認。
- ・ルール確認 タイムは3回まで、ピッチャー交代は4回以降（最重要引継事項（秋季大会以後の運営方法））

JC杯の運営については各中学校監督・専門員の先生が行う。

JCは開会・閉会の挨拶や講評、来賓対応を行う。

石灰は1袋で良いのでJCで負担

昼食、審判謝礼、ボール・ロージンバック・賞状準備

JCからは学校へ参加案内を送り、後は先生方で要項やパンフレットの作成、審判や会場手配、会場準備を行う。

JCで要項・パンフレットのデータをもらい印刷し発送。

連絡は専門員の先生と行い、適時進捗の確認をしてください。
会場は長井北と長井南を交互に開催、グラウンド状況によってもう一方への変更もある。

優勝賞品を用意出来るのであれば学校側の希望としてはボールが欲しい

11. 各担当者所見

◆委員長：齋藤 憲幸

今回のJC杯では、今後も開催していくために解決しなければならない問題が見つかりました。私にも至らない点がありましたが、いずれどこかで発生する問題でもありました。そのことについて各中学校の先生方と話し合い、問題の共有を行い、その解決に向けて大きな一歩となる切っ掛けにもなりました。しっかりと引継を行い、学校とのスムーズな連携が出来る関係を続けて行きたいと思います。最後に事業に参加いただき、お手伝いいただいたメンバーの皆様ありがとうございました。

◆担当副理事長：齋藤 圭央

GWの忙しい中、参加いただきました方々にまずは感謝申し上げます。例年参加者が少なく、開催自体をどうするかというところからのスタートでしたが、実際にやってみるといろいろな方の思いに触れることができ、大変勉強になった事業でした。過去にもあったような課題等をしっかりと受け止め、今後引き継ぎ、秋季大会ではやって良かったと言っていただけのような事業を進めてまいりたいと思います。参加しないとわからないことが多い事業であると思いますので、メンバーの更なる協力をお願いし、所見とさせていただきます。ありがとうございました。

花育、はじめてみませんか？

1. 事業概要

ここ数年、長井青年会議所では、最上川河川緑地公園の環境美化運動として、花植えと清掃活動を行ってきました。今年は園児たちの健全育成に重点を置き、地域の企業・団体と共に事業を行うことで、地域が一体となり子ども達の育成に協力する環境を作ることを目指し、花育をテーマにした事業を行いました。

花育とは、花や緑に親しみ、育てる機会を通して、優しさや美しさを感じる心を育む活動のことを言います。

そのために、まずは花壇に植栽を行います。青年会議所エリアの花壇に黄色いひまわり（2区画）とピンク色の芝桜（2区画）を植え、フリースペースの花壇には長井市のフラワーボランティアの花を植えました。

さらに今年は植栽だけでなく、ワークショップとしてテラリウムの作成を行います。テラリウムは花や緑を植えて終わりで

はなく、身近な場所に置いて世話や管理をすることで優しさや美しさを感じる豊かな心の育成が出来たと思います。

ひまわりの撤去作業時には、種を収穫し、参加してくれた園や企業に配ります。その花の種をそれぞれの場所で植えて頂くことで、花のまち長井らしい景色が増え、花育の心が広がると思います。

見る人にインパクトを与える花壇にすることで、見に行きたい！参加したい！と思う人が増えることが望め、また、自ら参加することで自然を大切にする心、花に対する思いやりの心が育まれます。更にインパクトのある景色が増えていくことで、参加したことのある人は見るたびに当時の心が蘇り、新たにその景色に感動した人々にもその心が伝わったと思います。

2.実施日時：6月17日（日）8：00～11：30

3.実施場所・会場：最上川河川緑地公園

4.事業対象者

長井市内の保育園、幼稚園、児童センター、園児とその保護者、長井市内の企業、長井JC以外の他団体、地域住民の一般参加者。

5.参加者募集方法

関係諸団体への依頼、幼稚園・保育園・児童センター・一般向けのチラシ配布、ホームページ、facebookでの募集、メンバーへはメール・LINE

6.決算総額：¥71,128

7.参加員数

◆内部

担当委員会：(5名)、その他メンバー：(8名)

◆外部

長井市建設課：(1名)、園児、保護者：(7名)

一般参加者(地域住民・団体・企業)：(9名)

8.外部協力団体及び協力種別

〔後援〕長井市

〔協力〕長井花卉生産組合長井花卉生産組合

9.実施プログラム

8：00 委員会メンバー集合 会場設営
司会進行 大泉紀也

8：30 メンバー集合 ※受付に水分補給の場所を設ける。

8：40 理事長挨拶（メンバー向け）

9：05 一般参加者集合（全行程参加者）

9：06 理事長挨拶（梅津理事長）

9：09 活動内容説明（齋藤委員長）

9：15 花植え開始

①長井市青年会議所エリア（ひまわり、芝桜）

②フリースペース

（フラワーボランティアの花）※①終了後

9：50 花植え終了

10：10 テラリウム作成の説明 説明者 大泉紀也
実演 齋藤委員長

10：20 テラリウム作成開始

目安：作成30分、鑑賞会10分、アンケート10分

11：00 写真撮影

11：10 完全撤収

11月3日 花壇撤去

10.引き継ぎ事項

・長井市建設課のフラワーボランティア担当の方と内容についてよく話し合ってください。

・空き花壇が出るとJCに依頼が来る。今後のことも考え小さい花壇については断っていくことも検討してください。

・草むしり作業は水まつり後も実施出来るように工夫してください。

・花壇撤去に人員が足りなくなるので、草むしり作業が増えたとしても撤去がしやすいようにした方が良い。

・マルチは使用しない方が撤去しやすい。

・芝桜は今年はあまり増えませんでした、だんだんと増えて行き、いずれ雑草に負けないようになります。是非継続していただきたい。

11.各担当者所見

◆委員長：齋藤 憲幸

まずは、6月のお忙しいところ参加いただいたメンバーの皆様ありがとうございました。当日この事業に参加した方々の様子は花や緑とふれあう機会があまりないのかなという様子が見えました。その中でテラリウムの作成は高校生達も子どもの頃に帰ったように楽し気で、子ども達も一生懸命作業しており自然に触れ合う楽しさを感じて貰えたようでとても嬉しかったです。この経験がふるさとを大切に思う心に繋がって行くことを願います。ご協力ありがとうございました。

◆担当副理事長：齋藤 圭央

今年は花育に力を入れた形で「テラリウム」の作成を行いました、様々な形で土や緑に触れ、興味を持って楽しく体験してもらったことがとても記憶に残りました。天候にも恵まれ、イメージした通りの事業を行えたことが何よりです。維持管理にも例年同様の課題が残り、さらに欲を言えば、もう少し大勢で花育に対する思いを共感したかったなと思うところです。今年の反省を来年に活かし、子ども達の健全育成に繋げていければ幸いです。

納涼パーティー

1. 事業概要

JC 活動の多くの素晴らしさを知る諸先輩方と懇親を深める貴重な親睦の場となる納涼パーティーを開催します。会員減少が課題となっている JC において、諸先輩方の経験に基づく貴重なお話を聞くことにより会員拡大に役立てることができるまたとない機会になると考え、JC 活動の多くの素晴らしさを知る諸先輩方と懇親を深めることで、JC の魅力や楽しさを改めて認識し、今後の活動の活力となるふれあいの機会とし、参加者全員が楽しめるようなアトラクションを計画しました。

2. 実施日時：8 月 23 日 19：30～21：30

3. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

4. 事業対象者：長井青年会議所 OB、現役メンバー

5. 参加者募集方法：案内文書

6. 決算総額：¥0

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(4 名)

その他メンバー(仮会員含む)：(14 名)

◆外部

長井青年会議所 OB：(8 名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19：30	開会の挨拶	齋藤副理事長
19：35	理事長挨拶	梅津理事長
19：40	長井 JC OB 代表挨拶	飯田 武志先輩
19：45	乾杯	樋口直前理事長
19：50	2018 活動内容 紹介	
20：00	次年度役員紹介	
	次年度専務理事候補者 船山裕紀君	
	次年度役員が登壇し次年度理事長挨拶をする。	
20：35	アトラクション	
21：05	若い我々	
21：15	中締め	村田 剛先輩
21：20	閉会の挨拶	船山副理事長
21：25	メンバーお見送り	

10. 引き継ぎ事項

- ・OB の参加促進のための手立てが必要だと思います。
 - ・新たな形の納涼パーティーの検討も必要なのではないか。
 - ・予算も無いので長井 JC の事業として継続するべきなのか？
- 検討をお願いします。

事業外として報告事項での上程でも良いのではないかと。

11. 各担当者所見

◆委員長：齋藤 憲幸

事業当日は、OB 会のゴルフコンペ、8 月通常総会、納涼パーティーというスゲジュールの中参加いただいたメンバーの皆様ありがとうございました。メンバーも先輩方の話を聞きながら様々な想いを感じていただけたのではないのでしょうか。この事業を通して更なる JC 活動への活力にしていれば幸いです。最後にご協力いただいたメンバー皆様ありがとうございました。

◆担当副理事長：齋藤 圭央

納涼に参加する事に対し、OB の中で少なからず意見や考えを持っている方がいるという事を知りました。次年度の体制を発表する場という重要な事業ですが、そろそろ考えを変える事も必要なのではないのでしょうか。そんな中でも積極的に交流を図るメンバーの姿をたくさん見られた事が、この事業が価値ある事業であったと認識できるところでした。ゴルフコンペと総会の後という事でお疲れのところでしたが、ご協力いただきありがとうございました。

ながい寺子屋

置賜半端ないって!置賜の歴史が作った文化を体験しよう!

1. 事業概要

今年山形県の「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定されました。そのことからわかる通り、山形と紅花文化は密接な関係があります。私たちの暮らす置賜地域にも優れた紅花文化があります。最も特徴的なことは、上杉鷹山公の産業振興策によって、紅花文化だけでなく様々な伝統工芸が生まれたことです。

そして、それを可能としたのは最上川舟運が栄え、流通網が出来ていたことによるものです。

そのことから、置賜は「最上川舟運」「上杉鷹山公」「紅花文化」により発展してきた地域だと考えられます。

子ども達の愛郷心を育成するため、自慢できる置賜を学んでもらうために、鷹山公が興した成島焼をルーツとする深山焼の体験、紅花文化と最上川舟運の勉強、紅花染め体験をしてもらいました。

最後に、子ども達が自分達の地域にはどんな魅力、伝統、文化があるのかを話し合い、また、子どもの目線で各地域の魅力、伝統、文化が連携することで、新たな魅力や価値の創造が出来ないか気づきを得るワークショップを行いました。

2. 実施日時：9 月 29 日(土) 7：50～16：30

3. 実施場所・会場：白鷹町 のどか村

4. 事業対象者：長井・西置賜の小学生 3 年～6 年生

5. 参加者募集方法

チラシ、facebook、ホームページで募集を行う。

6. 決算総額：¥135,484

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(5名)、その他メンバー：(3名)

◆外部

小学生：(10名)

8. 外部協力団体及び協力種別

〔後援〕白鷹町

〔協力〕白鷹町商工会青年部

〔後援〕白鷹町観光協会

〔後援〕長井市教育委員会

〔後援〕白鷹町教育委員会

〔後援〕飯豊町教育委員会

〔後援〕小国町教育委員会

9. 実施プログラム

7：50 齋藤副理事長、委員会メンバー1名 長井駅集合

8：00 参加者集合(白鷹以外の参加者)

※バス添乗の委員会メンバー以外はのどか村集合

8：10 ジャンボタクシー出発

8：30 参加者受付開始(現地集合希望者)

※現地集合の参加者のためバス到着前に開始

8：40 のどか村到着(送迎利用者受付開始)

8：50 開講式

8：51 主催者挨拶

8：55 趣旨説明・事業説明

9：00 開講式終了

9：10 アイスブレイク(握手増やし)

9：30 1時間目

深山焼き体験 深山工房つち団子

11：30 1時間目終了 移動、昼食準備等

12：00 昼食(そば)

12：30 べにたかちゃんと遊んで気分転換!

13：00 2時間目

座学(30分)

※講師の今野さんは、紅花についてだけではなく歴史や様々な知識をお持ちの方で白鷹の子ども達だけでなく長井・西置賜の子ども達の愛郷心を育成できるような話をさせていただきます。

紅花染め体験(60分)

Tシャツの紅花染め。Tシャツは最後の写真撮影の時に着用します。

14：40 2時間目終了 休憩

14：45 3時間目

ワークショップ

子ども達を6人ずつ3班に分けて、それぞれの班にメンバーを配置。最初はなるべく同じ地域ごとに分けて、自分たちの住む地域にどんな自慢できることがあるか出し合う。案を出し終わったら、班替えして色々な地域の子ども達と一緒に班にする。各地の自慢をグループ分けして、連携するとさらに発展しそうなものがないか話し合う。新たな長井・西置賜の名物になるような、ものやイベントを考える。

15：15 閉講式

15：20 修了証授与

委員長より一人ずつ手渡し

15：50 閉講式終了

15：55 アンケート

16：00 解散(現地集合参加者)

ジャンボタクシー出発 のどか村

16：30 解散 長井駅

11月26日、27日 子ども達の陶芸作品、配達

10. 引き継ぎ事項

・助成金や補助金について申請対象になるのか、申請期間についてよく検討してください。

・子ども達を叱ることについて事業を行う側は勉強が必要だと思います。叱らずに子ども達を纏める事や子どもとの接し方、笑顔と共感をどう使うのか等

・子どものケガや体調不良が発生した場合の対応について、事前にあった方が良いでしょう。

11. 各担当者所見

◆委員長：齋藤 憲幸

私自身の子どもの時の経験から、伝統工芸や自然を利用した体験は強く心に残っています。そしてそのことを大人になってから改めて考えるととても貴重な経験だったと気づくことが多くありました。そしてその思い出があるからふるさとを大切にしたいという想いになって行きました。物質的な豊かさだけでなく心の豊かさも大切であることは当たり前の時代です。心の豊かさを考えた時、ふるさとを思い出す子ども達が増えて行くことが愛郷心に繋がってくると私は信じています。最後にご協力いただいたメンバーの皆様、ありがとうございました。

◆担当副理事長：齋藤 圭央

答えのない難しい目的の事業ではありますが、子ども達のためにと委員長の思いの詰まった事業が開催できて良かったと思います。参加した子ども達が楽しそうに体験していた姿は、

きっと素晴らしい記憶として残ると思わせてくれるものでした。しかし、開催時期が二転三転したり、予算の確保ができなかったり、全体的に余裕をもって事業を作れませんでした。副理事長として至らなかった点だと反省しております。委員会メンバーは今回出来なかった事、学んだ事を次のステージで活かしてもらえたらと思います。

講演会

1. 事業概要

子ども達の健全育成のために講演会を開き、学校・地域・家庭、そして私達青年会議所が共に子ども達を育てる環境を作る。

2. 実施日時：10月3日（水）18：30～21：00

3. 実施場所・会場：長井市市民文化会館

4. 事業対象者：長井・西置賜の市民・町民

5. 参加者募集方法

チラシ・ポスター・facebook、ホームページ。

6. 決算総額：¥200,000

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（6名）、その他メンバー：（8名）

◆外部

参加者：（815名）、実行委員会：（25名）

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕公益社団法人長井青年会議所

〔主催〕公益社団法人長井法人会

〔共催〕長井市PTA連合会

〔共催〕長井市まちづくり青少年育成市民会議

〔共催〕長井市教育委員会

〔協賛〕長井商工会議所

〔後援〕長井市

〔後援〕小国町教育委員会

〔後援〕白鷹町教育委員会

〔後援〕飯豊町教育委員会

〔後援〕西置賜地区PTA連絡協議会

〔後援〕公益社団法人長井教育会

〔後援〕山形新聞

〔後援〕山形放送

〔後援〕国際ソロプチミスト長井

〔後援〕おらんだラジオ

9. 実施プログラム

15：30 実行委員会事務局開場準備・確認

16：00 駐車場看板設置

16：30 最終打合せ

17：00 駐車場誘導

尾木直樹先生 赤湯駅到着迎え

樋口直前（アテンド）齋藤副理事長（タクシー）

17：10 受付準備

受付

会場内誘導

託児所担当

駐車場係

17：30 開場

18：35 開演

司会

開会の挨拶 実行委員長 渋谷 道治様

挨拶 長井法人会 会長 大竹 薫様

長井 JC 理事長 梅津 壮一郎

講師紹介 長井市まちづくり青少年育成

市民会議 会長 安達 英一様

18：50 講師入場 講師案内：樋口 直前、齋藤副理事長
講演（70分間）

20：00 謝辞・花束贈呈

長井市PTA連合会 会長 平 浩一郎 様

20：02 講師退場 案内：樋口 直前、齋藤副理事長

20：05 アンケート記入

20：10 閉会

お見送り

10. 引き継ぎ事項

・駐車場についてはポスターやチラシに駐車場が少ないこと、公共交通機関の利用をうながすように記載したほうが良いと思う。

・講演テーマをもっとテーマと分かりやすく、裏面に講演内容についての記載もあった方が良かった。

・割り込みや混雑を防ぐためにも開場前に整列しやすいようにコーンやポールでした方が良い。

・長井市PTA連合会会長からは今後とも教育委員会、市PTA連合会、JCの連携を続けて欲しいという要望があった。要検討お願いします。

11. 各担当者所見

◆委員長：齋藤 憲幸

長井法人会さんと共に主催したことで、近年になく大きな講演会の開催となり、非常に多くの学びがあった講演会となりました。講演を聞いた参加者からはとても良かったというお話をいただき、主催者のひとりとしてとてもうれしく思いました。この事業から学校・地域・家庭が協力しあい教育を行って行くことが広まって行って欲しいと思います。メンバー皆様から大

きなお力添えをいただいたおかげで無事終わることが出来ました。本当にありがとうございました。

◆担当副理事長：齋藤 圭央

尾木直樹講演会という単独ではなかなか難しい大きな事業に携わることができ、学びの多い事業となりました。多くの関係者の方々から青年会議所に対し感謝の言葉をいただきました。この講演会を通して、今後子ども達の健全育成に繋がっていくと期待できる事業になったと思います。これも皆様のご協力の賜物であり、この場をお借りして感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

第 27 回 JC 杯中学野球大会（一年生大会）

1. 事業概要

西置賜地域の中学校に参加を呼びかけ、大会参加の経験が少
ない選手が主となる大会を開催しました。

2. 実施日時：10 月 6 日（土） 6：30～16：00

3. 実施場所・会場：TBC 球場

4. 事業対象者：長井西置賜の中学生

5. 参加者募集方法：案内を各中学校に送付し参加を募る。

6. 決算総額：¥33,901

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（5 名）、その他メンバー：（4 名）

◆外部

中学生・先生：（41 名）

8. 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕長井市野球協会

〔主管〕西置賜地区中学校体育連盟野球専門部

〔協賛〕すば一つ品ミヤカワ

9. 実施プログラム

6：30	会場にて天候判断
7：30	メンバー集合
7：35	メンバー内説明会
7：40	運営責任者にあいさつ
	監督会議・開会式の案内、会場運営確認
	参加校顧問にあいさつ
	参加料受領、監督会議と開会式案内
	審判員にあいさつ
	監督会議と開会式の案内、弁当準備の確認
8：00	監督会議
8：15	開会式
	選手整列
	閉会：司会

トロフィー返還

前回優勝校・大会会長（齋藤副理事長）

主催者挨拶：長井 J C 齋藤副理事長

大会副会長挨拶：中学軟式野球専門部部长
（小国中学校 教頭 服部先生）

審判挨拶：横山審判長

選手宣誓：代表校（白鷹中学校）

閉会：司会

9：00	始球式	副理事長 齋藤 圭央
9：05	第 1 試合開始	南中飯豊中 VS 白鷹中
		7 対 8 で白鷹中の勝利
10：50	第 2 試合開始	南中飯豊中 VS 北中小国中
		2 対 7 で北小国中の勝利
13：00	第 3 試合開始	白鷹中 VS 北中小国中
		16 対 2 で白鷹中の勝利
14：50	閉会式	
	選手整列	
	結果発表：司会	
	優勝	白鷹中学校
	第 2 位	北小国中学校
	第 3 位	南飯豊中学校
	トロフィー授与：齋藤副理事長	
	講評：横山審判長	
	閉会：司会	
15：20	会場撤収（施錠等確認）	
	グラウンド担当学校事務室にあいさつ	
11 月 14 日	野球部の先生との話し合い	

10. 引き継ぎ事項

- ・メンバー
- ・専門員の先生とは連絡を密にして、話を進めてください。
- ・各学校の顧問の先生とメールや電話で連絡をおこなってください。
- ・参加申込や要綱のやり取りはメールで良いそうです。参加申込書は当日捺印して持って来てもらってください。
- ・効率の良い運営、JC 側と学校側の役割分担についてもっともっと検討してください。
- ・TBC 球場の整備については長井市野球協会の笹川先生と相談してください。
- ・試合に出場しない上級生にも何か役割を与えてあげると新たな成長の場にもなるのではないかと。
- ・春大会を経て青年会議所・学校関係者・指導者・保護者の考え方の違いは少なくなってきたがまだまだできることがあったのではと感じる。

・終了後の先生方との話し合いでは春大会もやってほしいという話が出たので、今年の反省を踏まえた上で理想的な開催方法を作る必要があると感じた。

11. 各担当者所見

◆委員長：齋藤 憲幸

当初は春季を行わず、一年生大会のみで考えましたが、JC 杯を行って欲しいという声が強くあり、開催することになりました。その中で学校側と我々 JC 側が意見を交わし、役割分担等を例年と替えたり新たな取り組みも行いました変えるところは変えて持続可能な JC 杯も検討していただきたいとも思います。試合経験の無い中学生達にとってはとても意味のある事業だ

と思いますので、よろしくお願いいたします。最後にご協力いただいたメンバーの皆様ありがとうございました。

◆担当副理事長：齋藤 圭央

春季大会を経て様々な改善を行って開催しましたが、まだまだ出来ることはあった事業だなと思います。継続すべきかやめるべきか、この事業に対するメンバーの思いの違いはあると思います。実際に運営する委員会としてやってみて、委員会メンバーもいろいろと考えさせられました。子ども達の健全育成を願う事業として意味のある事業だと思いますので、ただ開催するだけでなくもう一步踏み込んだところまで考え、より良い事業にしたいと思います。

まちづくり委員会 事業報告書

●担当副理事長 船山 裕紀 ●委員長 小林 和正 ●副委員長 渋谷 祥平 ●幹事 吉川 明紀
●委員 牛澤 栄一 ●委員 小笠原 昭夫 ●委員 丸山 昂 ●委員 飯澤 栄人

委員長所感

今年度まちづくり委員会では 10 周年を迎えるみんなで灯そう夢灯を軸に活動してまいりました。長井 JC において規模予算ともに一番の事業を行う委員会で、私に委員長が務まるだろうかと考えていたことを思い出します。事業は結果として多くの動員や関係者からの好意的な意見が多く、成功することができました。これは多くの皆様に共感し参画して頂けたこと、そしてメンバーの多大なる協力を頂いたおかげです。使命感や義務感だけではひと共感できない、まちの活性化に何が必要か、より良い方法は何かを常に考え続けた一年でした。私自身大変に勉強になりましたし、関わって頂いた全ての方が何かしら感じて頂けていることを願い、所感とさせていただきます。

ンドルを使用する。実際に点灯させたランタンを見てイメージしていただきました。

2. 実施日時：4 月 21 日（土） 18：00

3. 実施場所・会場：中央地区公民館

4. 事業対象者

例年夢灯協力頂いている団体また新規に協力を依頼しようとしている団体

5. 参加者募集方法：文書による案内送付

6. 決算総額：¥40,865

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（5 名）、その他メンバー：（10 名）

◆外部

市内小中高等学校担当教員：（3 名）

長井市役所・長井市職労青年部：（2 名）

青年団体連絡協議会（8 名）、JC0B 会：（4 名）

山形工科短期大学校：（6 名）

ボランティアサークル コスモス班：（3 名）

オブザーブ（1 名）

8. 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕長井市、長井市教育委員会、長井観光会

〔協力〕長井市内青年団体連絡協議会

〔協力〕山形工科短期大学校

〔協力〕アメフラシ

〔協力〕置賜農業高校

〔協力〕長井市社会福祉協議会

夢灯協力団体交流例会について

1. 事業概要

協力団体の方に夢灯について理解を深めていただく為に、夢灯の事業内容や趣旨の説明を行いました。

・講話

夢灯の歴史や目的、どのような活動なのかをこれまでの夢灯の写真なども見ながら理解を深めていただいた。例年と今年度の夢灯の違いについてポイントをまとめて発表し、協力団体の方に夢灯の開催趣旨や事業内容を知っていただいた。

・夢灯展示

ミニ夢灯を会場で行いました。参加者にランタン用紙を配り、今の自分の夢や目標を書いていただき子供たちが作るときのイメージを体感していただきました。室内でも安全な LED キャ

9. 実施プログラム

- 16:00 委員会メンバー会場入り 設営
- 17:00 青年会議所メンバー集合 リハーサル 例会レモニー
- 17:30 受付開始 会場入り
- 18:00 交流例会開始
- 18:05 理事長挨拶
- 18:10 夢灯事業説明
- 18:30 ランタン作成体験

※出来上がったものから懇親会会場に展示開始

- 18:50 1部終了
- 19:15 懇親会開始

※懇親会オードブルを夢灯仕様で依頼。講師謝礼として材料費込みで支払。 依頼 丸川精肉店 様
※飲物代は会費にて充当。

- 20:30 中締め

10. 引き継ぎ事項

各学校・団体には案内文だけに頼らず、趣旨を説明し参加頂けるように促すようにしてください。

早めに台本の精査に取り組み、余裕を持って当日の臨むようにしてください。

公民館等の使用の場合は原状回復が基本です。撤収作業や必要備品まで確認する必要があります。

11. 各担当者所見

◆委員長：小林 和正

夢灯 10 周年にむけて計画事業内容から多くの協力を頂かなければいけないため、例年の説明会とは異なり、夢灯についての理解及びまちづくりに対する意識の醸成を図る為、今回夢灯協力団体交流例会を開催させて頂きました。まず委員会メンバーが、何故夢灯を行うのか、10 年間にどういった想いで行われてきたのかをしっかりと共有することから始まりました。その甲斐もあり当日は熱意をもって参加者の方々にお伝え出来たのではないかと感じています。また当日の進行に関して、委員会以外のメンバーの方にも能動的に動いて頂いたおかげでスムーズな進行を行うことが出来ました。ある OB の方からは今回の設えに関して最高だったとお褒めの言葉を頂きました。各担当だけでなく青年会議所が一丸となって事業に取り組むことで、必要とされる団体だと感じて頂けることを学びました。これからも今回学んだことを活かしつつ様々事業に取り組んで行きたいと考えます。委員会メンバーはじめ参加頂いたメンバーの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

◆担当副理事長：船山 裕紀

まず始めに年度始めのお忙しい時期にも関わらず、夢灯協力団体交流例会にご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。本年度 10 回目を迎える「みんなで灯そう 夢灯」を実施するにあたり、ご協力くださる関係諸団体さままた、メンバーの皆さまに数多くご参加いただきました。多くの皆さまと夢灯開催の目的や意図、そしてこれまでの歴史を共有し、交流を深めることで、まちづくりへの想いを高めることが出来たものと思います。ご協力いただきました皆さまありがとうございました。

地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯』

1. 事業概要

地域一丸となったまちづくりを行っていくには、地域住民・各団体など多くの方との協働で行ったことに対する一つのわかりやすいかたちが必要だと考えます。作り上げた明るい会場は地域の活力の象徴となり、これまで以上にまちづくりの輪を広げることが明るい豊かな社会につながり、地域の未来も元気に明るく照らされることから、今年の「みんなで灯そう夢灯」のテーマは「 Fine 」とします。夢灯史上最高の元気を目指しました。

「あやめ公園での開催」

あやめ祭り開催に合わせ園内をランタンで敷き詰めました。2013 年から小学生のランタンをデータ化し、当初 1 年生だった子ども達は今回で 6 年生になりました。今年も市内小学生にランタンの作成を依頼しました市内中高生にも小型ランタンを作成して頂き、過去のランタンも含め 10,000 基の設置を行いました。子ども達は夢灯に参加しながらこの地で過ごしてきた 6 年間を一つの会場で振り返り、変化したものや変わらないものに想いを馳せながら未来に歩き出していくことが出来ると考え実施しました。さらに地元で活躍するアーティストや団体の方にもランタンによる作品を展示して頂き、光で埋め尽くされた記憶に残るインパクトのある光景を作り出すことにより、みんなで作り上げた感動を共有し地域の活力を育みました。また来場者むけに LED スカイランタン打ち上げイベントを行いさらに明るく幻想的な空間演出を行いました。

2. 実施日時：6 月 23 日

3. 実施場所・会場：あやめ公園

4. 事業対象者

西置賜地域、及び近隣地域の児童・一般の方

5. 参加者募集方法

チラシ、ポスターの配布。市報・町報・ホームページ・facebook への掲載など。ラジオ出演。

6. 決算総額：¥1,963,801

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(5名)、その他メンバー：(16名)

◆外部

関係諸団体：(99名)、一般来場者：(4270名)

8. 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕長井市、長井市教育委員会、長井観光協会

〔協力〕長井市内小中高等学校

〔協力〕長井市青年団体連絡協議会

〔協力〕山形工科短期大学校

〔協力〕長井市職労青年部

〔協力〕アメフラシ

〔協力〕長井 JC OB 会

〔協力〕置賜農業高校

〔協力〕長井市社会福祉協議会

〔協力〕絆サークルコスモス班

9. 実施プログラム

7:00	※天候不良時、理事長、副理事長、委員長で判断する。(その後随時)
8:00	委員会メンバー集合 物資・企業協賛ランタン搬入
9:00	JC メンバー集合 打合せ、本部テント設営、 企業協賛ランタン設置開始
10:00	ボランティアスタッフ集合、説明(本部テント) 当日ランタン制作コーナー開始 ～18:00 スカイランタンブース作成
11:00	ランタン設置開始(16時まで設置) 高校生ボランティア集合、説明、設置
12:00	昼食、休憩(各自交代制)
13:00	当日ランタンコーナー、スカイランタン受付開始
15:00	スカイランタン作成開始(ブースにて預かり)
16:00	小型ランタン配置完了
16:30	ランタン点灯セレモニー
17:00	ランタン点灯 キャンドル使用部分重点的に見回り
18:00	夕食、休憩(各自交代制)
19:15	スカイランタン打ち上げイベント受付及び配置調整
20:00	スカイランタン打ち上げイベント開始
20:20	スカイランタン打ち上げイベント終了
20:30	ランタン片付け開始
22:30	完全撤収

10. 引き継ぎ事項

- ・関係団体とのコミュニケーションは綿密に配慮を持って行うこと
- ・予算上金額が大きくなるため複数体制で予算の管理を行うこと
- ・本部運営が手薄になりがちなので事前にしっかり準備すること
- ・当日の連絡手段をご検討下さい。
- ・外部の方でも運営面・指導面を任せられる方を育成する必要があります
- ・来場アンケートを積極的によびかけること

11. 各担当者所見

◆委員長：小林 和正

今回は夢灯 10 周年ということで今までにない大きな規模で開催させて頂きました。JC メンバーはもちろん、行政、学校関係、多くの外部団体や学生ボランティアの方々の協力によりあやめまつり期間最大数の動員を達成することができました。多くの方にまちづくりに対する達成感や郷土愛の醸成を感じて頂けたと感じております。ひとりでは何もできなかった私ですが、多くの方々に支えられ無事事業を終えることができたことに感謝を申し上げ委員長所見とさせていただきます。本当にありがとうございました。

◆担当副理事長：船山 裕紀

まずは当事業に関わり応援してくださった皆様はじめ、準備段階よりご参加いただきました大変多くの皆様に感謝申し上げます。地域活性化事業「みんなで灯そう 夢灯」は今年で 10 年という大きな節目を迎えました。これまで関係諸団体の方々、諸先輩方、そして何よりこの地域に住まう方々が、どれだけ多くの愛情を注ぎ絶え間無い努力と大きな友情の元に地域を支え続けてくださったのかを実感致しました。今年の反省点、そして挑戦したからこそ得られた多くを活かし次年度以降の地域活性化事業に取り組んでいただけましたら幸いです。

会員交流例会ランタンづくり体験ワークショップ

1. 事業概要

メンバー、そして JC 活動に理解し、協力してくれる家族が交流できる貴重な親睦の場として、ワークショップを開催します。講師として、渡辺久美さんをお招きし、ランタンづくりを行いました。

1、ワークショップ

- ・講師の方より、活動紹介およびランタンの制作方法についての説明を受けた。
- ・それぞれが制作するランタンのテーマ設定をし、実際に制作した。
- ・作成したランタンは各自持ち帰り、活用してもらった。

2、アンケート

- ・ワークショップに参加しての感想を知った。

2.実施日時：2018年12月15日（土） 15：33～

3.実施場所・会場：白鷹町文化交流センターあゆーむ

4.事業対象者：会員とその家族

5.参加者募集方法：メール、LINE、電話等

6.決算総額：¥35,000

7.参加員数

◆内部

担当委員会：（6名）、その他メンバー：（8名）

◆外部

メンバー家族等：（4名）、渡辺久美先生

8.外部協力団体及び協力種別

〔協力〕白鷹町文化交流センターあゆーむ

9.実施プログラム

14：00 まちづくりメンバー集合 受付準備

15：00 受付

15：30 参加者集合 例会セレモニー

開会の挨拶

講師紹介

内容説明

15：55 ワorkshop開始

18：00 ワorkshop終了

理事長挨拶

閉会の挨拶

アンケート記入

18：30 撤収完了

10.引き継ぎ事項

- ・参加人数を増やすため、積極的な告知をお願いします。

- ・家族との交流なのか、会員同士の交流なのかははっきりしたほうが良い。

11.各担当者所見

◆委員長：小林 和正

なにかとお忙しい12月に多くのメンバーにご参加頂きありがとうございます。例年賑やかな催しが多い12月の事業ですが、今回は黙々と作業に没頭したり、それぞれの個性あるランタンに触れ刺激を受けたりと新しい感覚の例会を提供できたのではないかなと感じております。ご家族も喜んで頂ける内容だったと思いますが、趣旨をメンバーに理解して参加を促す努力が足りなかったと反省しております。次年度以降も参加側の顔を思い浮かべながら参加してよかったと思われる事業を期待しています。

◆担当副理事長：船山 裕紀

はじめに師走のお忙しい中、多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございます。世界に一つだけのランタン作りを通して会員交流を深めていく中で、改めて個性や価値観は一人ひとり違い全てが魅力的であることに気付かされました。来年度以降の会員交流に繋げていただければ幸いです。

会員拡大実践会議 事業報告書

●担当議長 井上 典嗣

●副議長 渡部 清隆

議長所感

今年度会員拡大実践会議は、会員拡大運動、人材育成事業の大きく2つの柱で事業を展開してまいりました。まずは、梅津理事長をはじめとするメンバーの皆様には多くのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。

会員拡大運動については、なかなか思うように成果を出す事が出来ず、4名入会という結果となりました。今後、公開例会や事業など入会候補者がオブザーブしやすい環境を整え、青年会議所を身近に感じていただく機会を数多く設けることで、さらなる拡大へと繋げていくのではないかと感じております。人材育成セミナーについては、メンバーの資質向上を目的とし、わかりやすい話し方講座を開催しました。まずは、メンバーの我々が学び魅力的な人間であり続けることが会員の拡大にも繋がると考え実施しましたが大変好評をいただきました。

最後に、一年間ともに活動をしてくださいました渡部清隆副議長をはじめメンバーの皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

伝えたい。この想い。～わかりやすい話し方講座～

1. 事業概要

私達は多くの人々の心を動かせる人材となっていかなければならないと考えております。

そのための能力の一つとして「伝える力」がとても重要であると考えます。どんなに素晴らしい考えや、強い想いがあってもそれを人に伝えることができなければ大きな運動にはなっていきません。私達の考えや想いに何らかの価値を感じ、共感してもらうことが重要でありますので、それを伝える能力は必須であると考えます。また、それは会議の場やプレゼンテーションの場だけではなく普段の生活にも活かすことができます。

この度のセミナーでは、伝え方の中でも話し方について学べる内容にし、わかりやすい話し方やそのポイントについて学びました。また、地域のリーダーとして、企業や組織のトップとして相手の心に響くような話術について体験しながら学べる機会とした。

2. 実施日時：5月16日（水） 19時～20時30分

3. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：電子メール、LINE、電話

6. 決算総額：¥11,846

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（2名）、その他メンバー：（11名）

◆外部

講師：（1名）、講師アテンド、JC事務局員：（2名）

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19：00 例会セレモニー

19：15 開会、趣旨説明

19：20 話し方講座開始 講師：齋藤 繁喜氏

・わかりやすい話し方とは

・何を話すかよりどう話すか

20：35 話し方講座終了

謝辞、記念品披露

20：38 監事講評

10. 引き継ぎ事項

・メンバーの出席率を向上させるため、日時選定や事業の大切さを伝えることが必要。

・セミナーのボリュームに合わせた時間の設定をするべきでした。

11. 各担当者所見

◆議長：井上 典嗣

まずは参加していただいたメンバーの皆様、講師の齋藤繁喜先輩に心から感謝いたします。ありがとうございました。

青年会議所活動や仕事においてとても重要である伝える力、心に響くわかりやすい話し方講座を実施でき大変嬉しく思っております。とても大切な能力ですが、意外にも近年JCの事業として話し方をセミナーとして学ぶ機会を実施しておりませんでした。今年議長という立場をいただき、この度の事業を実施できたことに感謝いたします。青年会議所の活動は全て学びに満ち溢れていますが、今回のようにわかりやすくメンバーの資質を向上させる事業がもっとあっても良いのかなと感じました。

◆副議長：渡部 清隆

この度は、メンバーの皆様のご協力のお陰で無事業を実施できましたこと感謝申し上げます。私自身非常に勉強になり、とても有意義な時間になりました。この機会をきっかけに更に、青年会議所活動に参画して参りたいと思います。

会員拡大運動

1. 事業概要

【拡大への意識改革】

会員拡大の前提として、青年会議所活動に対するLOM内の意識改革が絶対条件であります。会員一人ひとりが光り輝き魅力的になることで組織と事業が光り輝き、地域での認知度や信頼度が増すことで魅力的な仲間が集まるという好循環に繋がると考えます。そのためには、会員のモチベーションの指標である例会や委員会の出席率を重んじる雰囲気作りに努めて参りました。

・問題点

①あなたは人に本気で入会を勧められていますか。

JCに対するイメージは私達の言動が生んでいる可能性があります。JCに対するネガティブな発言はもうやめましょう。

②会費の問題

年間90,000円、月7,500円です。JCには自己成長や気づきや出会いを得る機会が沢山あります。金額以上の価値を見込んでいるか。多くを求め前のめりで取り組んでいる人にとっては、とてもリーズナブルと考える。

【2018年度会員拡大目標】

「10名」を目標として会員拡大に取り組んで参ります。

3月末までに4名（3月に異業種交流会を長井市で開催）

7月末までに3名（7月に異業種交流会を飯豊町で開催）

9月末までに3名（8月に異業種交流会を白鷹町で開催）

【異業種交流会】

共に活動する新入会員となる新たな仲間との出会いの機会。

また、私達の運動を知ってもらい、良き理解者として事業等に参画してもらえるような若者との出会いの機会。

長井市、飯豊町、白鷹町 年3回実施する計画。

長井市、飯豊町、白鷹町、小国町に住所または勤務先を有している40歳未満の方であれば、開催地を問わず参加できます。

【会員拡大ツール】

長井JCパンフレットを作成いたします。

2. 実施日時：通年

3. 実施場所・会場：長井・西置賜

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー、入会候補者

5. 参加者募集方法：電子メール、LINE、電話、面談

6. 決算総額：¥35,500

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(1名)、その他メンバー：(12名)

◆外部

入会候補者：(9名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

【異業種交流会】

3月例会 ver

- | | |
|----------------|----------|
| ・例会セレモニー | 担当：事務局 |
| ・異業種交流会 | |
| 1、理事長挨拶 | 梅津理事長 |
| 2、長井JCの事業紹介 | 委員会、局に依頼 |
| 3、交流 | 名刺交換マスト |
| 4、自己紹介 | 全員 |
| 5、閉会 | |
| ・例会セレモニー(監事講評) | 担当：事務局 |

10. 引き継ぎ事項

メンバーへ拡大の重要性和会員数を増やす意義を説明する機会があった方がよい。

毎月理事会等で拡大状況の確認を徹底し、候補者リストの見直しや、訪問管理(誰がいつまで訪問するか)を管理した方がよい。

異業種交流会は早めに日時場所を決めチラシを作って案内をする。

異業種交流会は、候補者にとって学びのある内容にした方がよい。

会員拡大は前半勝負だと思いますので、年明けすぐ行動すべきです。忙しくなる6月からはなかなか大変だと思います。

事務局 事業報告書

●専務理事 小関 幸一

●事務局次長 玉橋 恵子

●事務局長 梅津 拓郎

●事務局補佐 飯澤 喜治

委員長所感

今年度は事務局長という役職と、青团連出向など初めて尽くしの一年になりました。当初は何もかも初めての経験で、小関専務をはじめとする、多くのメンバーに負担をかけてしまい申し訳ない気持ちと、理事としての責務の大変さを痛感させていただいた自分にとっても実りあるとても重要な年度にすることができたと感じております。この貴重な経験を決して無駄にはせずに来年度以降にも存分に活かしていけるよう精進していきたいと思います。事務局メンバーの皆さん一年間お付き合

「今なら入会金無料」「半年間は会費無料」等の大胆な手法やキヤッチコピーを打ち出すことも今後検討できるかと思います。当たり前ですが、なるべく多くの方に入会を勧めることが必要です。2018年は候補者リストに60名の名前がありましたので、1割7分の方が入れば10名入会と考えましたが、見込みがまかったということです。

パンフレットか別紙で、年会費等の情報が記載されている必要があったと感じます。

11. 各担当者所見

◆議長：井上 典嗣

まずは年間を通して、梅津理事長をはじめとするメンバーの皆様には会員拡大に取り組んでいただき誠にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。会員拡大は、メンバー一人ひとりが拡大の担当者である意識を持っていたくことから運動がスタートするものと思っております。年々、メンバー数が減少しており拡大も大変厳しい状況であります。青年会議所運動の原点である拡大運動に今後もしっかりと向き合っていかなければなりません。入会パンフレットについては、予定者段階で審議をいただき、新年度すぐに活用できるよう準備をする必要があると感じました。会員拡大実践会議として、拡大については大きな成果を残すことができず大変無念ですが、引き続きJAYCEEとしてJCの魅力語り、仲間創りに取り組んで参りたいと思います。皆様のご協力ありがとうございました。

◆副議長：渡部 清隆

一年間、会員拡大の副議長として活動させていただきましたが、成果を残せず大変申し訳なく思っております。今後も引き続き会員の拡大に努めて参りたいと思います。一年間ありがとうございました。

いただき、誠にありがとうございました。

新春賀詞交歓会

1. 事業概要

長井JCと関わりがあった各種方面の方々をお招きし、2018年度の長井青年会議所の基本方針から事業計画までを発表し、どういった事業展開をしていくのかを発信した。同時に、全てのJCメンバーも今年度の事業をしっかりと理解し、JC活動への参画意欲を向上させ、それぞれの団体の方々やOBの方々と懇話を通して情報交換と懇親を深めていただき、今後のまち

づくりの更なる協力体制を構築する機会とした。

2. 実施日時：1月15日（月） 18時30分～

3. 実施場所・会場：(株)長井観光 はぎ苑

4. 事業対象者

長井青年会議所メンバー・行政関係者・まちづくりに寄与している関係諸団体・長井青年会議所OB

5. 参加者募集方法

招待者リストを作成し、招待状を発送した。

OB会には郵送で招待状を送付し、FAXで返信いただいた。

6. 決算総額：¥18,791

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(10名)

◆外部

招待客(来賓)：(15名)、長井JC0B：(12名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

1月14日（日） 前日リハーサル（事務局と登壇者）

1月15日（月）

17:00 最終リハーサル

18:00 受け付け開始 司会 事務局長

18:30 開会の挨拶 直前理事長

18:31 国歌斉唱

18:33 JCソング斉唱

18:35 JCIクリード唱和 ひとづくり委員会委員長

18:36 JCIミッション並びにJCIヴィジョン唱和

まちづくり委員会委員長

18:37 JC宣言文朗読並びに綱領唱和 事務局次長

18:39 東北JC宣言文唱和 まちづくり委員会委員

18:40 スローガン ひとづくり委員会委員

18:41 理事長挨拶 理事長

18:49 来賓紹介 専務理事

18:52 来賓祝辞 ・長井市長 内谷重治様

18:55 祝電披露

18:58 2018年度理事役員の紹介

19:01 2018年度基本方針、事業計画発表

各委員会の担当副理事長発表

・スクリーンを使用し発表する。各5分で計10分

会場移動 ※司会が案内

◇宴席を新館の後方のスペースで実施

19:20 鏡開き 鏡開き登壇者

乾杯 ・長井市議会議長 渋谷佐輔様

20:00 新入会員紹介 専務理事

※仮会員と2017年入会者

20:30 中締め ・長井JC0B 会会長 大竹薫様

20:40 閉会の挨拶 会員拡大実践会議議長

20:41 見送り

20:50 全プログラム終了

10. 引き継ぎ事項

・メンバーの出席率を向上させる工夫が必要。

・リハーサルは並び方や動き等、細かいところまでしっかりと確認すること。当日も動きの確認は必要。

・宴席は特にアトラクションや発表がない場合は、早めに閉会することも検討が必要。OBより時間が長いとの指摘あり。

11. 各担当者所見

◆事務局長：梅津 拓郎

事務局長に就任して初めての事業、個人的にも初めての新春賀詞交歓会になったのですが、皆様のご協力のおかげで大きなアクシデント等もなく事業を終えることが出来たと思います。大変ありがとうございました。例年の課題になっているようですが、現JC会員の参加人数が、OBの方より少なかったのが、今後、賀詞交歓会を続けていく上での課題の一つなのかなと感じました。現役会員の出席率向上の段取りも重点をおいてより良い事業を進めることを次年度へ期待して所見とさせていただきます。

◆専務理事：小関 幸一

この度は、メンバーの皆さんの協力で沢山の皆様との交流やお話をさせて頂くことが出来、貴重なご意見も頂戴できたのではないかと思います。来賓・OB会の皆さんより多くの参加を頂き、ありがとうございます。事務局長の司会や新たな役職での発表など経験をさせて頂き、とても貴重な時間となりました。目的と検証にあるように新体制での他団体さんとの協力強化と親睦が図れたと私も実感しております。この機会をきっかけに更に、よりよい地域を創造し、「明るい豊かな未来」の実現に向け行動してまいりましょう！ありがとうございます！

置賜4JC合同例会

1. 事業概要

第1部・講師で外園明博さんをお招きしてのセミナーを行いました。

講師：外園明博さん（高畠町役場勤務）

講演時間：18:45～19:30（45分間）

第2部・懇親会を行いました。

2. 実施日時：10月10日（水曜日）18時受付開始

第1部・18:30～19:36 第2部・20:02～21:24

3. 実施場所・会場：高島町中央公民館 2階大会議室

4. 事業対象者

公益社団法人米沢青年会議所・一般社団法人南陽青年会議所・
一般社団法人高島青年会議所・公益社団法人長井青年会議所

5. 参加者募集方法：メール・LINEにて案内

6. 決算総額：¥10,800

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(2名)、その他メンバー：(11名)

◆外部

米沢 JC：(34名)、南陽 JC：(24名)、高島 JC (13名)

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕一般社団法人高島青年会議所

〔共催〕公益社団法人米沢青年会議所

〔共催〕公益社団法人長井青年会議所

〔共催〕一般社団法人南陽青年会議所

9. 実施プログラム

【第1部 講師例会】

18:00 受付
18:30 開会宣言
18:31 国家斉唱
18:32 JC ソング斉唱
18:33 JCI Greed 唱和
18:34 JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和
18:35 JC 宣言文並びに綱領唱和
18:36 東北 JC 宣言唱和
18:37 開催地 LOM 理事長挨拶
18:41 講師入場
18:42 趣旨説明・講師紹介
18:45 講演
19:32 質疑応答
19:34 講師退場
19:35 閉会宣言
19:36 交流会準備

【第2部 交流会】

20:02 開会の挨拶 長井青年会議所 梅津壮一郎理事長
20:05 乾杯 南陽青年会議所 高橋武洋理事長
20:07 歓談
20:30 次年度理事メンバー紹介 各 LOM 次年度専務理事
20:53 次年度出向役員紹介 佐藤友和専務理事
21:08 各 LOM 卒業生紹介 敬意を表して西方茂太理事長
21:20 中締め 米沢青年会議所 横山直人理事長
21:24 解散

10. 引き継ぎ事項

1. 会場の準備、片づけをメンバーで行う場合は、余裕を持った
タイムスケジュールを計画しメンバーの参加推進をしっかりと
行う必要がある。

2. 講師との打ち合わせの際に、講演時間に合わせた講演内容
になっているかをしっかりと確認しておく必要がある。

3. 講師をお願いに行く段階から今後のスケジュールまで打ち
合わせしておく必要がある。

4. 講演に必要なものをしっかりと把握し、設置場所や音量な
どを事前に把握しておく必要がある。

5. 交流会で使う備品について事前にリストをしっかりと作成
しておく必要がある。

11. 各担当者所見

◆事務局長：梅津 拓郎

この度は、当日欠席してしまい誠に申し訳ありませんでした。
出席いただいたメンバーの皆様、ありがとうございます。
そして今回運営いただいた高島 JC の皆様、誠にありがとうござ
いました。この事業は年に一度の置賜4JC が交流できるメン
バーにとっても有意義な事業だと思います。よりメンバーみん
なが交流できるよう、早めの告知、出欠確認などの出席しやす
い環境づくりに努めていきたいと思います。

◆専務理事：小関 幸一

今回、主体として高島 JC さんが担当して頂き、設営、誠にあ
りがとうございました。長井 JC の参加者が13名と他 LOM から
比べると少し少なかったと感じます。第一部では、外菌明博さ
ん（高島町役場勤務）に講師として登壇頂き、人財育成に重点
を置いた講演内容をお話頂き、地域を盛り上げていくための意
識向上にもつながった内容だったと思います。また、第二部で
は、年に一度の置賜4JC のメンバーが集い交流を行うことが出
来、各 LOM の状況、地域のことや様々な情報交換などを行い、
とても有意義な時間となりました。前もっての出欠の確認、取
りまとめなど早め早めの運営にご協力頂き、更に送迎等でも
様々なメンバーに助けて頂き感謝しております。本当にありが
とうございました。

卒業式

1. 事業概要

卒業者のこれまでの活動の功績を讃え、感謝の意を表し、記
念品の贈呈と今後の更なる飛躍を祈念した。

2. 実施日時：11月26日（月）19時～21時30分

3. 実施場所・会場：中央会館

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：電子メール、LINE

6. 決算総額：¥34,646

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(5名)、その他メンバー：(17名)

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19:00 例会セレモニー

19:10 卒業式開始

(1) 開式の辞

(2) 卒業生紹介

(3) 卒業証書授与

(4) 理事長式辞

(5) 卒業生挨拶

(6) 閉式の辞

19:55 例会セレモニー（監事講評）、卒業式終了

卒業生を祝う会 開始

(1) 開会

(2) 理事長挨拶

(3) 乾杯

(4) 歓談

(5) メッセージ、花束贈呈

(6) 余興

①ひとづくり委員会

②まちづくり委員会

③理事長・直前+会員拡大実践会議+事務局

(7) 若い我ら

(8) 中締め

(9) 閉会

21:30 卒業生を祝う会 終了

10. 引き継ぎ事項

・開催時期は12月を検討すること。全事業終了後の最後の事業であることが最良と感じる。

・開催日時は早い段階で卒業生に確認し、メンバーが集まりやすい日程に設定すること。

・式典を厳粛な形とするか、気楽な雰囲気の形とするかは卒業生の希望を聞いて検討すること。

・卒業生の答辞は10分では足りなかったため、ひとり15分は見た方がよい。卒業生の人数によって事業の開始時間を見直すこと。

・卒業記念品の注文は、注文から発送までに約1カ月半かかるため、早めに行うこと。

11. 各担当者所見

◆事局長：梅津 拓郎

まず初めに、皆様の御協力により無事に終わることが出来たことに感謝申し上げます。今年は会場、内容と例年とは若干違いましたが、卒業生からも反応が良く、またメンバーからもいい卒業式だったとの声が聞こえ、目標としていた事業結果となったことに一安心しております。ただ一つ残念だったのが、どの事業でも課題である出席率だと思います。この卒業式という事業は、お世話になった先輩の為の例会でもあるので、次年度の卒業式ではより良い出席率になるよう期待して所見とさせていただきます。

◆専務理事：小関 幸一

卒業式に当日、沢山のメンバーに出席を頂き誠にありがとうございました。卒業生に関しては、当日まで長年に渡り、長井青年会議所を支えて頂き、感慨深かったと思います。スピーチでは、予定の時間を過ぎるほど、メンバーに何か残そうという気持ちが、ひしひしと伝わってきました。この機会でも、メンバーにおいては、今後の活動の糧となったのではと感じております。卒業生に喜んで頂き、さらにメンバーにおいては、今までよりも結束や気概が高まったと思います。設営頂きました事務局・総務局のメンバーの皆さん、卒業生、現役メンバーの皆さんに感謝申し上げます。最後に卒業生お二人のご活躍を祈念しております。おめでとうございます。

事務局 事業報告書

●担当副理事長 小関 幸一

●委員長 小松 祐一郎

委員長所感

総務局長という役職を仰せつかり、一年間を自分なりに邁進してまいりました。役職を頂いたのは今年が初めてで、ご迷惑をお掛けすることも多々ございましたが、役職を頂いたのは今年が初めてで、ご迷惑をお掛けすることも多々ございましたが、皆様に支えて頂きながら過ごすことができた一年間だと実感しております。

また、数は少ないながら次年度理事長候補者所信発表例会やホームページ運営など事業の難しさ、運営の下支えの大切さを痛感致しました。そして、その中で学びも多く少しでも自己成長につながったのではないかと考えております。

最後に、この一年間梅津理事長はじめメンバーの皆様に支援頂きましたこと御礼申し上げます。

次年度理事長候補者所信発表例会

1. 事業概要

次年度理事長候補者の所信発表を行った。

2. 実施日時：2018 年 9 月 21 日（金） 午後 7 時～8 時 15 分

3. 実施場所・会場：タスパークホテル 5 階 フュージョン

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー、入会候補者

5. 参加者募集方法：電子メール、LINE

6. 決算総額：¥2,444

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（3 名）、その他メンバー：（12 名）

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

19:00～19:15 例会セレモニー 担当／小関専務

19:20～19:25 開会、趣旨説明 司会進行／小松祐一郎

19:25～20:00 次年度理事長予定者所信発表 小関幸一君

20:05～20:15 例会セレモニー 担当／小関専務

10. 引き継ぎ事項

・開催時間を少し早める、声掛け及びメール等で周知を増やす等、参加率を向上させる工夫が必要。

・当日の会場の使用状況を把握し、駐車場の案内も行う。

・所信の発表時、発表者、拝聴者が下を向かない配慮が必要。

11. 各担当者所見

◆委員長：小松 祐一郎

本例会は次年度、長井青年会議所の方向性を示す理事長所信の内容を、全メンバーが深く理解し、共有する大切な例会であると考えます。メンバーそれぞれに想いがある中で、長井 JC が目指すものを再確認し、当事者意識を持ち次年度に向けて進んで行くものと思います。ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。

◆専務：小関 幸一

この度は、次年度所信発表例会にあたり、総務局・事務局メンバー皆さんに段取り設営、その後の交流会にあたっては、会議体より異業種交流会にて段取り頂き真にありがとうございます。メンバーが若干少ない印象がありましたが、参加いただきました方には真剣に聴講頂き、目的は達成できたことは大変よい機会となりました。次年度に向けてメンバーが当事者意識をもちスタートできることをうれしく思います。本当にありがとうございます。

ホームページ運営

1. 事業概要

ホームページ及び Facebook ページ閲覧者への正確な情報の

発信を、各委員会と連携し運営する。

2017 年度のページをベースとし改良を加え、以下の修正を行う。

①他団体とのリンクをバナーでつける。

②ホームページ更新方法、Facebook の活用、個人情報の取り扱い・顔写真等の配慮に関するマニュアルについて理事と各委員会担当者を対象に講習会等を行う。

③不適正な個人情報の使用が無いよう管理をする。

2. 実施日時：通年

3. 実施場所・会場：（講習会）サンノー企画印刷

4. 事業対象者：（講習会）長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：（講習会）メール配信

6. 決算総額：¥0

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：（5 名）、その他メンバー：（20 名）

8. 外部協力団体及び協力種別：なし

9. 実施プログラム

2 月 16 日（金）

各委員会の担当者対象にホームページ、Facebook に関する講習会を実施。

出席者：梅津理事長、井上議長、吉川明紀、齋藤憲幸

小関幸一、玉橋恵子、小松祐一郎

1 月総会後

2018 年度 HP ページ開設 〈トップページ変更、理事長所信・組織図・事業報告書・事業計画書変更〉

随時、各委員会・会議体・事務局より事業の案内・報告を掲載した。

10. 引き継ぎ事項

・各委員会の担当者が中心となり、告知・報告を含め情報発信に取り組むこと。

・レポートの専門用語を理解することで、HP 運営にやりがいやノウハウの蓄積や応用ができる。

11. 各担当者所見

◆総務局長：小松 祐一郎

この度、ホームページ・facebook 運営を通して、各委員会・会議体にて担当者の方に講習会から通年での情報発信頂きましたこと感謝したいと思います。事業の告知や報告で活用することが出来ていたか、組織全体として取り組んでいたかどうか、情報発信に関して課題だと感じました。スマートフォン等で簡単に情報が取れる時代だからこそ、正確な情報を適時に発信していく必要があると思います。

◆専務理事：小関 幸一

この度は、ホームページ運営・facebook での情報発信に関して、皆さんよりご協力頂きましてありがとうございます。アクセス件数が多かったのは、主に「夢灯」事業のインターネット広告の良い影響や、広報・内容に関して興味をもって頂けたからだと思います。スマートフォンで検索できる時代に、見やすいサイト制作のニーズが高まっています、当青年会議所も時代の変化を認識して対応していかなければなりません。

【出 向 報 告】

やまがたアクション17委員会

委員 井上 典嗣

出向報告

今年度、山形ブロック協議会やまがたアクション17委員会に出向させていただきました。県内各LOMへの会員拡大の支援が主な担いということで、各LOMの拡大状況や取組みの情報を集め、各LOM拡大担当者へその情報を発信し、拡大意識向上のセミナーを行う等、一年間通して県内各地の拡大の状況や、取組み等様々な情報を得るという貴重な経験をさせていただきました。この経験を今後のJC活動や会員拡大へ活かして行きたいと思います。
一年間大変ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
1月27日	第1回委員会	鶴岡
2月 5日	エリア会議	高島青年会議所ルーム
3月 5日	エリア会議	南陽青年会議所ルーム
5月23日	エリア会議	南陽青年会議所ルーム
6月 5日	エリア会議	長井青年会議所ルーム
7月 3日	第2回全体エリア会議	天童市中部公民館

アカデミー委員会

委員 丸山 昂

出向報告

アカデミー委員会での出向を経験して感じたキーワードは「友情」でした。この度、3回のみの参加となりましたがその中で青年会議所を支えた諸先輩方のお話を聞いていくと青年会議所で共に活動した仲間は卒業しても絆として残るものだというお話もありました。そこで人生の友情の大切さを感じました。

また、プログラムの中で共にワインを作る企画がありましたが一緒に作り上げていく楽しさや大変さを体験することができました。

アカデミー委員会での共に経験したことやこの出会いはスタートだと感じました。この縁を大切にしていけます。そして長井青年会議所にもアカデミー委員会で学んだ縁の大切さを体現できるように頑張っていきます。

出向先活動開催日	内容	場所
4月14日	第2回プログラム ・VMVセミナー 講話 米川 浩平ヘッドトレーナー ・OB3名の方から講話 先輩からの恩送り～知識の幅を広げよう～	寒河江市技術交流プラザ

9月 8日	第4回プログラム ・友情を深める 世界に46本だけのワイン作り	南陽市紫金園
10月27日	第5回プログラム ・ディスカッション ・閉講式	村山市農協会館

アカデミー委員会
委員 吉川 明紀

出向報告

今回のアカデミー出向に関しては、スケジュールが合わず、残念ながら第2回目にしか参加できませんでした。しかしながら、山形県内の他のLOMの方々と出会い、話をする機会が得られたことは、非常に嬉しい経験でありました。同じような年代の青年たちが、地域の為に問題に向き合い活動しているという事は、頭ではわかっているけど実感はありませんでした。しかし、実際に目の当たりにしたことで、強く実感することが出来ました。同じ志の仲間が各地にいるということは、思っていた以上に心強いことです。

また、日本青年会議所とはどのように始まり活動してきたのか知ることができました。我々は、日々自分の地域の中でそれぞれ事業をしています。計画・実行していく際には、組織の成り立ちと目指しているものを折に触れて思い返し、その理念から外れていないか確認するべきであると思いました。新しい日本の再建は我々青年の仕事であるという覚悟を持って、「ひとづくり」「まちづくり」「教育」「国際社会」「環境」など様々な分野で、青年としての正義感、理想を追求する心、真摯な情熱という価値観のもと、積極的にかかわっていこうと思います。

セミナーの中では、偉大な先輩たちが現役時代に行った事業についてお聞きする時間もありました。大変な情熱をもって活動を行い、困難を乗り越え、多くのことを為し得てこられたのだと知り、どれも興味深くお聞きしました。こうしたお話を聞いた後、自分のLOMに戻って地域の皆さんと関わっていると、諸先輩方が築いてきてくださった信頼と信用が、今の我々の活動を支えてくれているのだと強く感じます。この襷を絶やすことなく、次世代につないでいくために、精進していこうという決意を新たにしました。

私がはじめイメージしていた以上に、青年会議所というところには様々な職業、立場の青年が所属しており、様々な価値観を持った人々の集合体であると思いました。こうした人々と、高めあい自己研鑽を積むことができるのは、非常に魅力的な事です。活動を通して深まった絆は、実際の日々の生活や仕事においても、非常に心強いものになると思います。

他のプログラムに参加できなかったことは非常に残念で悔やまれますが、十分に実りのある体験が出来ました。こうした機会をくださった皆様に心より感謝申し上げます。

出向先活動開催日	内容	場所
4月14日	第1部 「VMVセミナー」	寒河江市技術交流プラザ 第2研修室
	第2部 「先輩からの恩送り～知識の幅を広げよう～」	

出向報告

長井青年会議所に入会后、3年連続で出向の機会を与えていただきました。今年は女性活躍や企業ブランディング、やまがたブランドの発信といった魅力あるやまがたを創出するための事業に取り組むやまがた創生委員会に出向させていただきましたが、委員会活動にほとんど出席できず、今年一年限りの貴重な場であったこともあり、非常に残念に思います。

出席させていただいた第51回山形ブロック大会米沢大会メインフォーラムでは、著名な女性をお招きしてのパネルディスカッションが行われ、私は当日、リモコンでのパワーポイントの操作を仰せつかりました。聴講者も多く緊張しましたが、委員会の方が丁寧に教えてくださったおかげで終えることができ、事前打合せも含め、良い経験となりました。

事業への参加を通して普段の生活や仕事では経験することのできない貴重な経験をすることが出来ました。今後のLOMでの活動や自分自身の成長に繋げていきたいと思います。

1年間ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
7月 7日	第51回山形ブロック大会米沢大会 メインフォーラム	米沢市伝国の杜 「置賜文化ホール」

出向報告

本年度、山形ブロック協議会やまがた創生委員会に委員として出向させていただきました。地方創生における女性活躍推進を主務とし、ブロック大会のメインフォーラムや女性活躍検討会の開催を担当する委員会ということもあり、各LOMから多くの女性が出向しておりました。

県内で活躍する女性メンバーと出会う貴重な機会にもあり、この出会いを大切にし今後のJC活動へ繋げていきたいと思います。この機会を賜りました皆様に感謝を申し上げ、出向報告とさせていただきます。

出向先活動開催日	内容	場所
1月27日	第1回委員会	鶴岡市出羽庄内国際村
7月 6日	メインフォーラム準備	米沢市伝国の杜
7月 7日	メインフォーラム本番	米沢市伝国の杜

山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会
委員 齋藤 圭央

出向報告

出向経験の少ない私が力になれたのか不安は残りますが、たくさんのメンバーに助けられ無事に終えることができました。また、置賜４ＬＯＭの協力体制や繋がり深さを再認識することができ、運営に携わったからこそ新たな気づきや学びを得ることができました。出向という経験を糧として今後のＬＯＭの事業に反映していきたいと思います。仕事の環境など様々な点に配慮いただきながら出向という機会をいただきました梅津理事長をはじめとするメンバーに感謝と御礼を申し上げ報告とさせていただきます。

出向先活動開催日	内容	場所
１月２７日	第１回全体委員会	鶴岡市 グラント エル・サン「カトレア」
２月 ５日	第１回全体部会	南陽市 南陽ＪＣルーム
２月２８日	第２回全体部会	南陽市 あべちゃんこ
５月１１日	第２回全体委員会	山形市 馬かもん
５月３０日	米沢ＪＣ５月例会	米沢市 上杉神社 臨泉閣
６月 ２日	大会ＰＲキャラバン	高畠町 よねおり観光センター
６月 ５日	大会ＰＲキャラバン	山辺町 山辺ＪＣルーム 東根市 東根ＪＣルーム 河北町 河北ＪＣルーム
６月 ６日	大会ＰＲキャラバン	寒河江市 寒河江ＪＣルーム
６月 ７日	大会ＰＲキャラバン	長井市 長井駅前理事会場 鶴岡市 ＪＣ会館
６月 ８日	大会ＰＲキャラバン	天童市 農業訓練センター
６月１０日	大会ＰＲキャラバン	南陽市
６月１２日	大会ＰＲキャラバン	上山市 中部地区公民館 山形市 パレスグランデール
６月１４日	大会ＰＲキャラバン	村山市 事務局
６月１８日	大会ＰＲキャラバン 第３回全体部会	新庄市 新庄ＪＣルーム 南陽市 南陽ＪＣルーム
６月２１日	大会ＰＲキャラバン	尾花沢市 尾花沢ＪＣルーム 酒田市 酒田ＪＣ会館
６月２５日	ＹＢＣテレビ広報出演	山形市 山形メディアタワー
６月２７日	ＹＴＳテレビ広報出演	山形市 山形テレビ
７月 １日	チラシ街頭配布	米沢市 イオン米沢店、ＪＲ 米沢駅 置賜公園ハーブガーデン
７月 ３日	ラジオ出演	山形市 山形メディアタワー
７月 ６日	前日準備	米沢市 伝国の杜「置賜文化ホール」 松が岬公園/上杉神社「本殿」
７月 ７日	第５１回山形ブロック大会米沢大会	同上

山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会
委員 渋谷 祥平

出向報告

この度、ブロック大会運営委員会に出向させていただきましたが、最初の第1回全体部会と大会当日のみの参加となり、委員会の皆様には多大なご迷惑をお掛けしてしまいました。それでも、ブロック大会当日は無事に終了することができ、大変嬉しく思っております。少ない活動の中で、あれだけ大きな事業を開催できたことは、運営委員会のみならず、米沢青年会議所の皆様をはじめ、県内すべての青年会議所の皆様のお力があったからこそ出来たものだと感じております。

今回の委員会活動で得た経験は、他の運営委員会のメンバーから比べれば少ないと思いますが、これからの LOM での活動へ活かしていき、地元を盛り上げていけるよう尽力してまいりますことを約束し、ブロック大会運営委員会の活動における私の所感とさせていただきます。

出向先活動開催日	内容	場所
1月27日	第1回全体委員会	鶴岡市 グランド エル・サン「カトレア」
2月 5日 出席	第1回全体部会	南陽市 南陽 J C ルーム
2月28日	第2回全体部会	南陽市 あべちゃんこ
5月11日	第2回全体委員会	山形市 馬かもん
5月30日	米沢 J C 5月例会	米沢市 上杉神社 臨泉閣
6月 2日	大会 P R キャラバン	高畠町 よねおり観光センター
6月 5日	大会 P R キャラバン	山辺町 山辺 J C ルーム 東根市 東根 J C ルーム 河北町 河北 J C ルーム
6月 6日	大会 P R キャラバン	寒河江市 寒河江 J C ルーム
6月 7日	大会 P R キャラバン	長井市 長井駅前理事会場 鶴岡市 J C 会館
6月 8日	大会 P R キャラバン	天童市 農業訓練センター
6月10日	大会 P R キャラバン	南陽市
6月12日	大会 P R キャラバン	上山市 中部地区公民館 山形市 パレスグランデール
6月14日	大会 P R キャラバン	村山市 事務局
6月18日	大会 P R キャラバン	新庄市 新庄 J C ルーム
	第3回全体部会	南陽市 南陽 J C ルーム
6月21日	大会 P R キャラバン	尾花沢市 尾花沢 J C ルーム 酒田市 酒田 J C 会館
6月25日	Y B C テレビ広報出演	山形市 山形メディアタワー
6月27日	Y T S テレビ広報出演	山形市 山形テレビ
7月 1日	チラシ街頭配布	米沢市 イオン米沢店、JR 米沢駅 置賜公園ハーブガーデン
7月 3日	ラジオ出演	山形市 山形メディアタワー
7月 6日	前日準備	米沢市 伝国の杜「置賜文化ホール」 松が岬公園/上杉神社「本殿」
7月 7日 出席	第51回山形ブロック大会米沢大会	同上

出向報告

私が出向させていただきましたやまがた連携運動推進委員会は、事業内容が多岐にわたり精力的に活動していた委員会であったと感じます。それぞれ簡単に紹介しますと、ブロック協議会が日本青年会議所と連携を図り実施した事業として、未来を担う子ども達の道徳心を育むためのＪＣカップＵ－１１少年少女サッカー大会の開催。地域の未来を創造する政治参画に繋げるための県内各地首長選挙における公開討論会の実施。憲法改正の重要論点について理解を深める「憲法を考えるフォーラム」の開催。防災ネットワークの拡充及び強化、有事の際の災害ボランティア支援活動や東北地区協議会との連携推進運動として、昨年度から引き続き「地方創生」を進めるための交通インフラ署名活動の実施など、まさに山形県や県民を巻き込み、インパクトある事業を展開したことで、ひとりでも多くの方々に新たな気付きや学びを得ていただくことが出来たと考えます。私自身もこの出向で得た経験をこれからのＬＯＭに少しでも還元できるよう努めて参ります。

最後に出向の機会を与えてくださった梅津理事長に感謝致しますとともに御協力いただきました皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内容	場所
１月２７日	第１回委員会	鶴岡市
２月５日	第２回委員会	山形市
３月２日	第３回委員会	新庄市
４月１３日	第４回委員会	天童市
５月１８日	第５回委員会	東根市
６月９日～１０日	ＪＣカップ	東根市
７月３日	尾花沢市長選挙公開討論会	尾花沢市
７月７日	山形ブロック大会米沢大会	
	憲法を考えるフォーラム	米沢市
８月１５日	戸沢村豪雨災害ボランティア	戸沢村
９月２２日	公開委員会	酒田市

2018年度 貸借対照表(案)

2018年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	623,803	595,221	28,582
未収金	36,000	36,000	0
未収会費	288,000	288,000	0
流動資産合計	947,803	919,221	28,582
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業実施積立金	865,260	865,174	86
特別積立金	87,443	87,435	8
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	3	0
特定資産合計	1,452,706	1,452,612	94
固定資産合計	1,452,706	1,452,612	94
資産合計	2,400,509	2,371,833	28,676
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	10,500	-10,500
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	10,500	-10,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,400,509	2,361,333	39,176
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	2,400,509	2,361,333	39,176
負債及び正味財産合計	2,400,509	2,371,833	28,676

2018年度 貸借対照表内訳表(案)

2018年12月31日現在

					(単位:円)
科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	623,803	0	0		623,803
未収金	0	0	36,000		36,000
未収会費	196,200	0	91,800		288,000
流動資産合計	820,003	0	127,800		947,803
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
事業実施積立金	865,260	0	0		865,260
特別積立金	87,443	0	0		87,443
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	1,452,706	0	0		1,452,706
固定資産合計	1,452,706	0	0		1,452,706
資産合計	2,272,709	0	127,800		2,400,509
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
流動負債合計	0	0	0		0
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	0	0	0		0
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	2,272,709	0	127,800		2,400,509
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	2,272,709	0	127,800		2,400,509
負債及び正味財産合計	2,272,709	0	127,800		2,400,509

公益社団法人長井青年会議所				
2018年度正味財産増減計算書 決算（案）				
2018年1月1日から2018年12月31日まで				
（単位:円）				
科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
（1）経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	30,000	20,000	10,000	
受取入会金	30,000	20,000	10,000	¥10,000×3名（新規会員数）
受取会費	2,202,500	2,540,000	△ 337,500	
正会員会費	2,062,500	2,460,000	△ 397,500	¥90,000×22名（年初会員数）+小笠原¥37,500+横澤¥30,000（月割による）+加藤¥7500+牛澤¥7500
特別会員会費	100,000	40,000	60,000	¥20,000×5名（卒業者より）
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名（長井市長、長井商工会議所会頭より）
その他会費	0	0	0	
事業収益	78,000	41,000	37,000	
登録料収益	78,000	41,000	37,000	JC杯中野球大会登録料¥25,000：¥5,000×5校、ながい寺子屋18,000円：¥1,000×18名、
広告料収益	0	0	0	12月例会35,000円：メンバー2,000円×16名、家族1,000円×3家族
販売収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	745,532	740,000	5,532	
地方公共団体補助金	690,000	0	690,000	夢灯補助金¥690,000
民間補助金	0	120,000	△ 120,000	
地方公共団体助成金	55,532	620,000	△ 564,468	フラワーボランティア謝礼金：¥55,532（例年は¥20,000）
民間助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	1,200,243	535,686	664,557	
受取寄付金	1,200,243	535,686	664,557	夢灯企業協賛金¥1,176,000、JCカード還元金¥24,243
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	3,100	244	2,856	
受取利息収益	100	7	93	
その他の雑収益	3,000	237	2,763	
経常収益計	4,259,375	3,876,930	382,445	
（2）経常費用				
事業費	3,464,987	3,184,652	280,335	
地域開発事業	2,234,377	1,447,976	786,401	
青少年育成事業	607,165	914,028	△ 306,863	
公益事業共通	205,397	242,110	△ 36,713	
内部例会及び会員交流系事業	226,341	276,342	△ 50,001	
広報系事業	87,499	235,488	△ 147,989	
その他組織運営に関する事業	104,208	68,708	35,500	
収益事業等共通	0	0	0	
科 目	当年度	前年度	増 減	備考
管理費	755,212	767,051	△ 11,839	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	5,000	25,592	△ 20,592	香典・弔電・花代：¥5,000
会議費	5,400	5,400	0	1月総会会場使用料：¥5,400
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	14,234	5,075	9,159	送料、切手代、ゆうメール：¥14,234
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	65,982	36,570	29,412	スローガン看板：¥19,440、会員ネームプレート・バッジ：¥3,200×4名、その他¥33,742
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	148,318	148,164	154	手帳：¥117,180、総会資料印刷：¥12,346、その他：¥18,792
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
貸借料	20,000	20,000	0	JCルームの貸借料¥240,000：¥20,000×12ヶ月
保険料	8,400	9,450	△ 1,050	ボランティア活動保険：¥350×24名
委託費	135,108	135,108	0	長井商工会議所事務員¥432,000：1ヶ月¥36,000
租税公課	0	600	△ 600	ホームページ作成・更新、ホスティング料等¥110,160 合計：¥542,160
支払負担金	259,527	300,800	△ 41,273	■ 贈本代：¥0 JCI負担金¥28,544： ¥1,651×22名（年初会員数）+¥1,651×2名（新入会員2名） 日本JC負担金¥140,000： ¥30,000（基本額）+¥5,000×22名（年次会員数）+¥5,000×2名（新入会員2名） 地区協議会負担金¥38,000： ¥5,000（基本金）+¥1,500×22名（年次会員数）+¥10,000×0名（ゼミナール委員出向者数） ブロック協議会負担金¥130,000： ¥10,000（基本金）+¥5,000×22名（年次会員数）+¥5,000×2名（アカデミー委員出向者数） 国際協力資金¥40,150： ¥1,825×22名（年次会員数）+¥1,825×2名（新入会員2名） 日本JC出向者負担金¥0： ¥20,000（基本金）×0名 We Believe購読料¥66,000： ¥3,000×22名（年次会員数）¥1,250×2名（新入会員2名） J C 支払負担金総計： ¥464,924
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	77,851	63,820	14,031	関係団体年会費、電報他：¥77,851
雑費	15,392	16,472	△ 1,080	予備費（振込手数料他）
経常費用計	4,220,199	3,951,703	268,496	
評価損益等調整前当期経常増減額	39,176	△ 74,773	113,949	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	39,176	△ 74,773	113,949	
2. 経常外増減の部				
（1）経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
（2）経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	39,176	△ 74,773	113,949	
一般正味財産期首残高	2,361,333	2,436,106	△ 74,773	
一般正味財産期末残高	2,400,509	2,361,333	39,176	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
・ ・ ・ ・ ・	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,400,509	2,361,333	39,176	

公益社団法人長井青年会議所														
2019年度正味財産増減計算書（事業区分単位） 予算内訳表														
平成30年1月1日から平成30年12月31日まで														
(単位：円)														
科 目		公益目的事業会計				収益事業等会計					法人会計		内部取引控除	合 計
		公1 地域開発事業	公2 青少年育成事業	共 通	小 計	他1 内部関係及び 会員交流系事業	他2 広報系事業	他3 その他組織運営 に関する事業	共 通	小 計				
Ⅰ 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
	基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取入金金											30,000	0	30,000
	受取入金金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		30,000		30,000
	受取会費	312,845	564,165	205,397	1,082,407	191,341	87,499	104,208	0	383,048		737,045	0	2,202,500
	正会員会費	312,845	564,165	65,397	942,407	191,341	87,499	104,208	0	383,048		737,045		2,062,500
	特別会員会費	0	0	100,000	100,000	0	0	0	0	0				100,000
	賛助会員会費	0	0	40,000	40,000	0	0	0	0	0				40,000
	その他会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	事業収益	0	43,000	0	43,000	35,000	0	0	0	35,000		0	0	78,000
	登録料収益	0	43,000	0	43,000	35,000	0	0	0	35,000		0		78,000
	広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	受取補助金等	745,532	0	0	745,532	0	0	0	0	0		0	0	745,532
	地方公共団体補助金	690,000	0	0	690,000	0	0	0	0	0		0		690,000
	民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	地方公共団体助成金	55,532	0	0	55,532	0	0	0	0	0		0		55,532
	民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	受取寄付金	1,176,000	0	0	1,176,000	0	0	0	0	0		24,243	0	1,200,243
	受取寄付金	1,176,000	0	0	1,176,000	0	0	0	0	0		24,243		1,200,243
	受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3,100	0	3,100
	受取利息収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		100		100
	その他の雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3,000		3,000
	経常収益計	2,234,377	607,165	205,397	3,046,939	226,341	87,499	104,208	0	418,048		794,289	0	4,259,375
	(2) 経常費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	事業費	2,234,377	607,165	205,397	3,046,939	226,341	87,499	104,208	0	418,048		0	0	3,464,987
	給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	福利厚生費	0	0	0	0	25,434	0	0	0	25,434				25,434
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	通信運搬費	0	1,710	0	1,710	246	13,766	0	0	14,012				15,722
	減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	消耗品費	1,243,775	40,709	0	1,284,484	26,113	105	0	0	26,218				1,310,702
	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	印刷製本費	386,230	65,922	0	452,152	16,355	4,920	28,500	0	49,775		0		501,927
	燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	賃借料	147,566	92,946	0	240,500	31,556	20,000	27,000	0	78,556				319,056
	保険料	0	2,200	0	2,200	0	0	0	0	0		0		2,200
	譲渡金	65,000	14,000	0	79,000	39,160	0	0	0	39,160		0		118,160
	租税公課	0	0	0	0	1,137	0	0	0	1,137				1,137
	支払負担金	0	0	205,397	205,397	10,800	0	0	0	10,800		0		216,197
	支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	委託費	278,688	370,448	0	650,136	70,740	48,708	48,708	0	168,156				818,292
	有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	雑費	112,124	19,236	0	131,360	4,800	0	0	0	4,800				136,160
	管理費											755,212	0	755,212
	役員報酬											0		0
	給料手当											0		0
	退職給付費用											0		0
	福利厚生費											5,000		5,000
	会議費											5,400		5,400
	旅費交通費											0		0
	通信運搬費											14,234		14,234
	減価償却費											0		0
	消耗什器備品費											0		0
	消耗品費											65,982		65,982
	修繕費											0		0
	印刷製本費											148,318		148,318
	燃料費											0		0
	光熱水料費											0		0
	賃借料											20,000		20,000
	保険料											8,400		8,400
	委託費											135,108		135,108
	租税公課											0		0
	支払負担金											259,527		259,527
	支払寄付金											0		0
	支払利息											0		0
	交際費											77,851		77,851
	雑費											15,392		15,392
	経常費用計	2,234,377	607,165	205,397	3,046,939	226,341	87,499	104,208	0	418,048		755,212	0	4,220,199
	評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		39,176	0	39,176
	基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		39,176	0	39,176
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
	中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
(2) 経常外費用														
	中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		39,176	0	39,176
	一般正味財産期首残高	0	0	2,361,333	2,361,333	0	0	0	0	0				2,361,333
	一般正味財産期末残高	0	0	2,361,333	2,361,333	0	0	0	0	0		39,176	0	2,400,509
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
	受取寄付金	0		0	0					0				0
	・ ・ ・ ・ ・	0			0					0				0
	一般正味財産への振替額	0		0	0					0				0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	指定正味財産期首残高	0		0	0					0				0
	指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高		0	0	2,361,333	2,361,333	0	0	0	0	39,176		0	0	2,400,509

正味財産増減計算書 決算内訳表（事業単位）
2018年1月1日から2018年12月31日まで

科 目	公益目的事業会計										共通	小計
	公1 地域開発事業					公2 青少年育成事業						
	特別活動費等 （費目）	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減	青少年育成費等 の増減		
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
（1）経常収益												
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息					0					0		0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息					0					0		0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金					0					0		0
受取会費	97,801	15,596	0	199,418	312,815	117,484	47,233	200,000	199,418	564,165	205,397	1,082,407
正会員会費	97,801	15,596	0	199,418	312,815	117,484	47,233	200,000	199,418	564,165	65,397	942,407
特別会員会費					0					0	100,000	100,000
賛助会員会費					0					0	40,000	40,000
その他会費					0					0		0
事業収益	0	0	0	0	0	18,000	29,000	0	0	43,000	0	43,000
登録料収益					0	18,000	29,000			43,000		43,000
広告料収益					0					0		0
販売収益					0					0		0
雑収益					0					0		0
受取補助金等	690,000	55,532	0	0	745,532	0	0	0	0	0	0	745,532
地方公共団体補助金	690,000				690,000					0		690,000
民間補助金					0			0		0		0
地方公共団体補助金	0	55,532			55,532					0		55,532
民間助成金					0					0		0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金					0					0		0
受取寄付金	1,176,000	0	0	0	1,176,000	0	0	0	0	0	0	1,176,000
受取寄付金	1,176,000				1,176,000					0		1,176,000
受取寄付金振替額					0					0		0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息収益					0					0		0
その他の雑収益					0					0		0
経常収益計	1,963,801	71,128	0	199,448	2,234,377	135,484	72,233	200,000	199,448	607,165	205,397	3,046,939
（2）経常費用												0
事業費	1,963,801	71,128	0	199,448	2,234,377	135,484	72,233	200,000	199,448	607,165	205,397	3,046,939
給料手当					0					0		0
臨時雇賃金					0					0		0
退職給付費用					0					0		0
福利厚生費					0					0		0
会費					0					0		0
旅費交通費					0					0		0
通信費					0		1,710			1,710		1,710
減価償却費					0					0		0
消耗什物備品費					0					0		0
消耗品費	1,187,251	56,624			1,243,775	14,870	29,839			49,709		1,284,484
修繕費					0					0		0
印刷製本費	372,980	13,250			386,230	43,072	22,850			65,922		452,152
燃料費					0					0		0
光熱水料費					0					0		0
賃借料	87,560			80,000	147,560	12,940			80,000	92,940		240,500
保険料					0	2,200				2,200		2,200
謝礼金	85,000				85,000		14,000			14,000		78,000
租税公課					0					0		0
支払負担金					0					0	205,397	205,397
支払助成金					0					0		0
支払寄付金					0					0		0
寄付金	159,440	800		119,448	279,688	51,000		200,000	119,448	379,448		650,136
有価証券運用費					0					0		0
雑費	111,570	554			112,124	11,402	7,834			19,236		131,360
管理費												
役員報酬												
給料手当												
退職給付費用												
福利厚生費												
会費												
旅費交通費												
通信費												
減価償却費												
消耗什物備品費												
消耗品費												
修繕費												
印刷製本費												
燃料費												
光熱水料費												
賃借料												
保険料												
委託費												
租税公課												
支払負担金												
支払寄付金												
支払利息												
交際費												
雑費												
経常費用計	1,963,801	71,128	0	199,448	2,234,377	135,484	72,233	200,000	199,448	607,165	205,397	3,046,939
経常増減差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価増減等												0
特定資産評価増減等												0
投資有価証券評価増減等												0
評価増減等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部												
（1）経常外収益												
中科目別記載												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用												
中科目別記載												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合増減額												
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産増減高											2,361,333	2,361,333
一般正味財産増減高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,361,333	2,361,333
II 指定正味財産増減の部												
受取寄付金												0
．．．．．												0
一般正味財産への振替額											0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産増減高												0
指定正味財産増減高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,361,333	2,361,333

[illegible]

公益社団法人 長井青年会議所
2018 年度財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当無し。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当無し。

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当無し。

(4) 引当金の計上基準

該当無し。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当無し。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	865,221	39	0	865,260
特別積立金	87,435	8	0	87,443
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	3	0	0	3
小 計	1,452,612	47	0	1,452,706
合 計	1,452,612	47	0	1,452,706

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	865,260	0	865,260	0
特別積立金	87,443	0	87,443	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	1,452,706	0	1,452,706	0
合 計	1,452,706	0	1,452,706	0

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	36,000	0	36,000
未収会費	288,000	0	288,000
合 計	324,000	0	324,000

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当無し。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
地方公共団体助成金	長井市 観光協会	0	690,000	690,000	0	
みんなで灯そう夢灯 事業助成金						
フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	55,532	55,532	0	
民間補助金						
合 計		0	745,532	745,532	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	0
事業実施による振替額	
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当無し。

16. 重要な後発事象

該当無し。

17. その他

該当無し。

2018 年度 附属明細書 (案)

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細

該当無し。

公益社団法人 長井青年会議所
2018 年度附属明細書（案）

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載。
2. 引当金の明細
該当無し。

2018年度 財産目録(案)

2018年12月31日現在

			(単位:円)
貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	0
預金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707	運転資金として	623,716
	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583	運転資金として	87
	普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960	運転資金として	0
	普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318	運転資金として	0
未収金	菅原純一君2013年度ブロック大会登録料 (¥3,000)	2013年度県大会登録料未収金	36,000
	菅原純一君2014年度ブロック大会登録料 (¥3,000)	2014年度県大会登録料未収金	
	菅原純一君2014年度フォーラム登録料 (¥7,000)	2014年度地区大会登録料未収金	
	菅原純一君2015年度ブロック大会登録料 (¥3,000)	2015年度県大会登録料未収金	
	菅原純一君2015年度全国大会登録料 (¥10,000)	2015年度全国大会登録料未収金	
	菅原純一君2015年度50周年特別協賛金 (¥10,000)	2015年度周年特別協賛金未収金	
未収会費	菅原純一君2013年度分 (¥108,000)	2013年度分会費未収金	288,000
	菅原純一君2014年度分 (¥90,000)	2014年度分会費未収金	
	菅原純一君2015年度分 (¥90,000)	2015年度分会費未収金	
流動資産合計			947,803
(固定資産)			
特定資産	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填 を目的とする。
	特別積立金	定期預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填 を目的とする。
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道(株)の有価証券で、 地域振興を目的とする。
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。
固定資産合計			1,452,706
資産合計			2,400,509
(流動負債)			
流動負債合計			0
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			2,400,509

公益社団法人長井青年会議所

2018年度委員会別事業費収支計算書 決算

(単位：円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
ひとづくり委員会				
フラワーボランティア	公1	71,128	55,532	15,596
ながい寺子屋	公2	135,484	18,000	117,484
講演会	公2	200,000	0	200,000
JC杯野球大会	公2	72,233	25,000	47,233
会員交流事業	他1	0	0	0
小計		478,845	98,532	380,313

(単位：円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
まちづくり委員会				
みんなで灯そう夢灯	公1	1,963,801	1,866,000	97,801
夢灯協力団体交流例会	他1	40,865	0	40,865
長井市長選挙公開討論会	公1	0	0	0
会員交流例会	他1	35,000	35,000	0
小計		2,039,666	1,901,000	138,666

(単位：円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
会員拡大実践会議				
会員拡大運動	他3	35,500	0	35,500
人材育成事業	他1	11,846	0	11,846
小計		47,346	0	47,346

(単位：円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	18,791	0	18,791
置賜4JC合同例会	他1	10,800	0	10,800
卒業式	他1	34,646	0	34,646
小計		64,237	0	64,237

(単位：円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
総務局				
次年度理事長所信発表例会	他1	2,444	0	2,444
ホームページ運営	他2	0	0	0
小計		2,444	0	2,444

合計 2,632,538 1,999,532 633,006

※事業区分について、公1＝地域開発事業、公2＝青少年育成事業、他1＝内部例会及び会員交流系事業、他2＝広報系事業、他3＝その他組織運営に関する事業

監 査 報 告 書

公益社団法人 長井青年会議所
理事長 梅津壮一郎 殿

2018年1月1日から2018年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事からの報告を聴取し、関係種類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の金額と一致し法人の終始状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

2019年 / 月 7 日

公益社団法人 長井青年会議所

監事

板垣 洋一



備 品 目 録

[2018 年 12 月 31 日現在]

1、木制書（89 年度卒業記念寄贈）	1 台
2、演台（90 年度卒業記念寄贈）	1 台
3、黒板（90 年度卒業記念寄贈）	1 台
4、ネームプレートキャリーバック	1 台
5、スチール書庫	3 台
6、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1 額
7、ゴング（米沢 J C 寄贈）	1 式
8、野球ユニフォーム	10 着
9、J C 法被	26 着
10、J C 綱領版（新潟 J C 寄贈）	1 式
11、腕章	19 本
12、CD（国家、J C ソング他）	1 枚
13、J C ジャンパー	25 着
14、入会認定書	1 額
15、日本青年会議所新聞（縮刷版）Vol. 1～3	1 式
16、祭事用テント（95 年度卒業記念寄贈）	1 張
17、拡声器（96 年度卒業記念寄贈）	1 台
18、例会場看板（97 年度卒業記念寄贈）	1 枚
19、プレジデンシャルリース（98 年度卒業記念寄贈）	1 式
20、国旗、J C 旗（99 年度卒業記念寄贈）	1 式
21、デジタルカメラ（00 年度卒業記念寄贈）	1 台
22、P C カード	1 枚
23、I C レコーダー（04 年度卒業記念寄贈）	1 台
24、プレジデンシャルリース J C I マーク変更の為（06 年度卒業記念寄贈）	1 式
25、ハンマー J C I マーク変更の為（06 年度卒業記念寄贈）	1 台
26、J C 旗 J C I マーク変更の為（06 年度卒業記念寄贈）	1 式
27、J C ゴング J C I マーク変更の為マーク部分のみ（06 年度卒業記念寄贈）	1 式
28、デジタルビデオ	1 台
29、ホワイトボード	1 台
30、テント	3 張
31、プロジェクター	1 台
32、スクリーン	1 台
33、誘導棒（米沢 J C 寄贈）	6 本
34、拡声器（米沢 J C 寄贈）	1 台